

SHOWA MEDICAL UNIVERSITY NEWS

JUNE
2026

6

昭和医科大学新聞 通巻第631号
(偶数月発行)

令和8年度 昭和医科大学入学式・入寮式

学生寄稿 「経験したすべてが、未来へつながる道になる」



「優れた医療人」への一歩を踏み出した 令和8年度 入学式・入寮式 609名



令和8年度 昭和医科大学 入学式



入学式

4月10日、明治神宮会館において令和8年度昭和医科大学入学式を挙行了。

医学部130名、歯学部103名(うち編入生3名)、薬学部206名、保健医療学部170名(看護学科101名(うち編入生3名)・リハビリテーション学科理学療法学専攻42名・リハビリテーション学科作業療法学専攻27名)の合計609名が医療人としての第一歩を踏み出すこととなった。

入学式は昭和医科大学管弦楽団による演奏で開式し、上條由美学長の告辞(別掲)に続き、小口勝司理事長は祝辞で「私たちは医療人を育てるための教育環境を整備してきました。1つ目が富士吉田の全寮制教育。他者との交流を通じて、医療人として必要なコミュニケーションスキルを獲得し、自分自身を深く見つめ理解するということを実践してください。2つ目が、2027年4月に開設予定の鷺沼キャンパス。全学部全員が同じ校舎で学ぶことは、『チーム医療』教育の一つとして非常に重要なことだと考えています。皆さんの人生において、本学での学生生活が大きな良い影響を与え、今までの経験とは異なる新しい変化が皆さんの心の中にかかることを願っています」と述べ、新入生に期待と歓迎の言葉を送った。

続いて、昭和医科大学宣言を新入生代表の前田鈴さん(歯学部歯学科)の発声に合わせて、新入生および昭和医科大学関係者一同で唱和し、グリークラブの指揮のもと、OBOG有志と関係者一同で校歌を斉唱した。

その後、新入生歓迎プログラムでは、在学生代表の2名が今後の寮生活やクラブ活動などについてユーモアを交えて歓迎の辞を語り、Medical All Stars Jazz Orchestra (MAS)の歓迎の演奏、応援指導部の新入生へのエールで和やかな雰囲気となった。

最後に、学校法人昭和医科大学の内田樹理事による特別講演が行われ、式典終了後、新入生はバスに乗車して富士吉田キャンパスへと向かった。



6

JUNE 2026

目次

2 Special Feature
令和8年度
昭和医科大学入学式・入寮式
学長告辞

6 Press Release
仕事の生産性に関与する女性の更年期症状
職場の「話しやすさ」が影響を左右する要因に
腸内細菌は「自ら環境をつくり自身の機能も変化させる」
超硫黄分子の細菌への影響に着目した新たな研究成果
空間トランスクリプトーム解析で顎関節症の病態解明へ
発症プロセスを細胞レベルで可視化する研究手法確立
かかりつけ薬剤師制度の有益性を検証
死亡リスク低下に関する仮説を生成

8 News & Topics
入職式・入学式・卒業式・修了式・各賞受賞者
リカレントカレッジ入学式・開講式
タイ3大学との学部間協定を締結
昭和女子大学附属高校で出張授業
「いのちの授業」を特別協定校で実施ほか

16 Student Life
学生寄稿
「経験したすべてが、
未来へつながる道になる」

19 Meeting Report (学内会議報告)

23 Information

Database
入試の結果と総評
卒業生・修了生・国家試験合格者・新入生

綴込



学長告辞

昭和医科大学 学長

上條 由美

新入生の皆さん、昭和医科大学へようこそ！

ご入学おめでとうございます。また、今日まで皆さんの歩みを支えてくれたご家族の皆様にご心よりお祝い申し上げます。昭和医科大学は昭和3年に創設され、現在は医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部の4学部からなる医系総合大学です。

皆さんが本日入学された本学には、私たちが決して忘れてはならない「原点」があります。それは今から約100年前、1923年9月1日の関東大震災にまで遡ります。

当時、震災によって壊滅的な被害を受けた東京では、医療提供体制が十分ではなく、多くの命が失われました。

その惨状を目の当たりにし、「一刻も早く、次世代を担う医療人を育てなければならない」と、強い使命感を持って立ち上がったのが、本学の学祖・上條秀介です。

混乱の時代にあっても「誰かがやらなければならない」と奔走した学祖の情熱。この揺るぎない志から生まれたのが、本学の建学の精神である「至誠一貫」です。

「至誠一貫」とは、「至る」という字に「誠実」の「誠」、「一貫」して貫くと書きます。

いかなる困難な状況にあっても、相手の立場に立って、真心を尽くして医療・教育・研究に邁進することを意味します。

これから皆さんが進む先には、驚くような医療技術の進歩や、多様な価値観との出会いが待っています。その広大な学びの世界に、時に圧倒されることもあるかもしれません。

そんな時、知識や技術を得るだけでなく、「患者さんに寄り添う誠実な心」を育むこそが、本学での学びの本質です。

本学が大切にしているもう一つの柱が「チーム医療」です。医療は、医師と看護師だけで完結するものではありません。薬剤師、リハビリテーションセラピストはもちろん、検査技師、運営を支える事務職員。すべての専門職が、立場を越えて、互いを尊重して、一人の患者さんに向き合います。

今日、この場には、学部や学科の異なる多くの仲間がいます。

皆さんは、専門性は違えど「人々の健康のために」という共通の

志を持った同志です。このキャンパスでの出会いを大切に、互いに高め合える関係を築いてください。

その「チーム医療」の第一歩となるのが、これから皆さんが送る富士吉田での全寮制生活です。ここで、単に知識を蓄えるだけではなく、異なる背景を持つ仲間と寝食を共にし、語り合うことで、「他者を理解し、支え合う心」の土台を築いてください。

時にはぶつかり合うこともあるでしょう。この富士吉田で結ばれる強い絆こそが、将来、皆さんが医療現場で困難に直面した時に、「折れない心の支え」となるはずです。

そして皆さんが2年次を迎える2027年、本学は新たな教育の拠点として「鷺沼キャンパス」を開校いたします。皆さんは、鷺沼キャンパスで学ぶ初めての学年です。

富士吉田で育んだ人間性という土台の上に、鷺沼では、いよいよ、より高度で緻密な専門知識と技術を積み上げていくことになります。

富士吉田で築く『人との絆』を土台にして、鷺沼で『確かな専門性』を積み上げていく。

この二つが合わさることで、皆さんは本学の精神である『至誠一貫』を体現する、真の医療人へと成長していくのです。変化を恐れず、常に高い志を持って、自らを磨き続けてください。

本学は再来年の2028年に「創立100周年」という大きな節目を迎えます。

本日入学した皆さんは、この記念すべき瞬間を本学の一員として、共に祝福する特別な世代です。

皆さんが、富士吉田で仲間を見つけ、鷺沼キャンパスで専門性を磨いていく、その歩みこそが、「100周年」という輝かしい歴史の新しいページを刻むこととなります。今日という日の決意を胸に、誇りを持って最初の一步を踏み出してください。

皆さんのこれからの成長と、昭和医科大学での日々が実り多きものになることを心より期待し、私の告辞といたします。

令和8年4月10日

昭和医科大学 学長 上條 由美

入寮式

4月11日、富士吉田スクエアガーデンにおいて、令和8年度昭和医科大学入寮式を挙行し、上條由美学長、小川良雄富士吉田教育部長、小倉浩教育委員長、山本雅人学生部長の挨拶の後、教育職員および寮監の紹介が行われた。

山本雅人学生部長は挨拶で、「皆さんは今、『人を知る冒険の旅』を始めたところです。自分とは全く違う世界観を持つ600人近い仲間と出会うのですから、これは冒険そのものです。

旅を成功させるための3つのポイントをお伝えします。まず1つ目は想像力。自分とは異なる相手の世界を想像してください。2つ目は理解力。自分と違う価値観を持つ相手を受け入れ、人間としての器を広げてください。最後、3つ目は勇気。自分自身を表現し、相手に声をかける勇気を持ってください。医療の現場に出れば、患者さんの心の世界を想像し、信頼を築くことが求められます。これから始まる寮生活は、そのためのトレーニングです。相手の心に「お花畑」を作れるような、そんな素敵なやり取りができる医療人を目指して、存分に学んでください」と述べ、新入生にエールを送った。

続いて、学生の代表となる学生会中央委員のメンバーが紹介され、全員で昭和医科大学宣言を唱和し、閉式となった。

午後は、Identity教育として、小口勝司理事長が講演を行い、学部別Identity教育では、各学部長から今後の学修について講話があった。

新入生は、これから始まる学生生活への期待や希望に胸を膨らませ、富士吉田キャンパスでの寮生活をスタートした。



昭和医科大学宣言



Identity教育（理事長講演）



学生会中央委員メンバー紹介



小川教育部長と学生たち





Press Release

仕事の生産性に関与する女性の更年期症状 職場の「話しやすさ」が影響を左右する要因に



昭和医科大学の有馬牧子准教授らの研究グループは、40～60歳の就労女性4,000名を対象とした大規模調査により、更年期症状の重さと職場環境に対する認識が仕事の生産性と関連していることを明らかにした。本研究は、国際学術誌「International Journal of Environmental Research and Public Health」に掲載された。

日本では働く女性が増加する一方、更年期世代の女性が健康に働き続けるための環境整備が重要な課題となっている。更年期には、ほてりや発汗、睡眠障害、抑うつ気分など多様な症状がみられ、仕事のパフォーマンスへの影響が指摘されてきたが、職場環境を含めた実証的検討は十分ではなかった。

本研究では、更年期症状を簡略更年期指数（SMI）、仕事の生産性をWHO-HPQで評価し、さらに女性特有の健康課題について職場で話しやすいと感じるかどうかを調査した。その結果、更年期症状が重いほど仕事の生産性が低い傾向が認められた一方、

健康課題について話しやすい職場だと感じている女性では、生産性が高い傾向が示された。また、更年期症状と生産性の関連には、健康課題について話しやすい職場環境が関与している可能性が示唆された。

本研究は、更年期を個人の問題としてではなく、職場文化や支援体制の視点から捉える重要性を示すものであり、理解ある職場づくりが働く女性の生産性や働きやすさにつながる可能性を示している。本研究はAMED（日本医療研究開発機構）の支援のもと、更年期症状の可視化と社会実装を目的として実施された。

リリース時タイトル／更年期症状は仕事の生産性と関連 — 職場の「話しやすさ」が重要な要因に：昭和医科大学などの研究グループが解明

本件に関する問い合わせ先／昭和医科大学 医学部 医学教育学講座 准教授 有馬 牧子 TEL：03-3784-8592 E-mail：makiko39@med.showa-u.ac.jp

腸内細菌は「自ら環境をつくり自身の機能も変化させる」 超硫黄分子の細菌への影響に着目した新たな研究成果

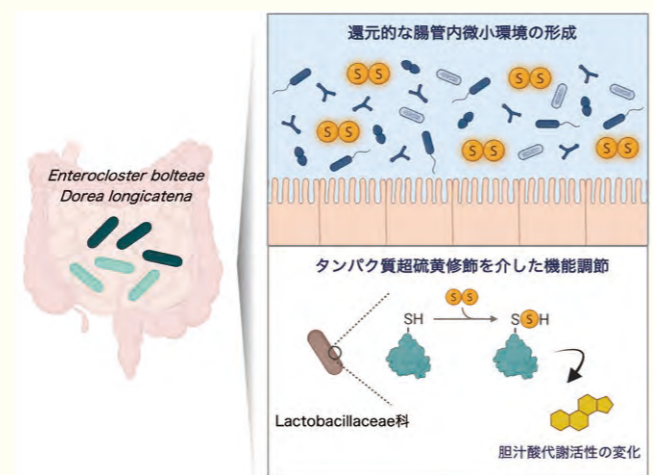


昭和医科大学の内山純特別研究学生と秋山雅博准教授らの研究グループは、腸内細菌が産生する「超硫黄分子」と呼ばれる反応性の高い硫黄化合物が、腸内を還元的な環境に保つとともに、細菌自身のタンパク質を化学修飾することで機能を調節していることを明らかにした。本研究成果は国際学術誌「Redox Biology」に掲載された。

腸内細菌は代謝物を介して宿主の健康に重要な役割を果たすことが知られているが、超硫黄分子が腸内環境や細菌自身の機能にどのように関与するかは十分に解明されていなかった。本研究では、超硫黄分子が腸内の還元環境形成に寄与し、腸内細菌が自ら環境を制御している可能性を示した。

抗菌剤投与により腸内細菌を減少させたマウスでは、糞便中の超硫黄分子量と還元力が低下し、シスチンを多く含む餌ではこれらが増加した。また、特定の腸内細菌は多量の超硫黄分子を産生し、自身を酸化ストレスから防御していた。さらに、超硫黄分子は細菌タンパク質に「超硫黄修飾」を付加し、胆汁酸代謝酵素などの活性を高めることが示された。

本研究は、腸内細菌が量だけでなく機能状態を変化させながら腸内環境を形成していることを示すものであり、腸内細菌叢を機能的に評価する新たな視点を提供する成果である。



研究概要

リリース時タイトル／【昭和医科大学】腸内細菌がつくる「超硫黄分子」が腸内環境と細菌機能を制御 — 還元環境の形成とタンパク質修飾による新たな仕組みを解明—

本件に関する問い合わせ先／昭和医科大学 臨床薬理研究所 腸内細菌機能修飾学部門 准教授・部門長 秋山 雅博 E-mail：akiyama.sw@med.showa-u.ac.jp

昭和医科大学では最新の研究結果等を外部（マスメディア）に発信しています。

ここでは、プレスリリースとして発信した記事を紹介しします。

※掲載内容はリリース時の内容となります。なお、2025年12月号から誌面では省略版の掲載に変更しており、全文はQRコードからご案内しているWEBページにてご覧いただけます。

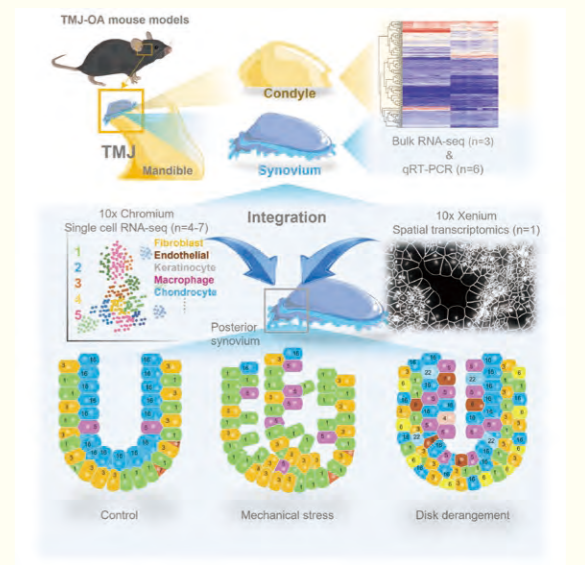
空間トランスクリプトーム解析で顎関節症の病態解明へ 発症プロセスを細胞レベルで可視化する研究手法確立



昭和医科大学の澁坂和大助教、矢野文子准教授らの研究グループは、空間トランスクリプトーム解析とシングルセルRNA解析を統合した最先端手法を用い、変形性顎関節症（TMJ-OA）の発症に関わる滑膜組織の分子挙動を高精度に可視化することに成功した。本研究成果は、歯科・口腔医学分野の国際学術誌「International Journal of Oral Science」に掲載された。

変形性顎関節症は、顎の痛みや開口障害、噛み合わせの異常を引き起こす代表的な顎関節疾患であり、その発症には力学的ストレスや炎症反応、関節円板転位など複数の要因が関与すると考えられてきた。しかし、顎関節は他の関節に比べて非常に小さく、複雑な構造をもつため、病変の起点や細胞ごとの分子応答を詳細に解析することは困難であった。

本研究では、力学的ストレスモデルと関節円板転位モデルの2種類のマウスモデルを用い、遺伝子発現の空間情報を保持した解析を行った。その結果、顎関節後方の滑膜組織が病態形成の起点となる可能性が示されるとともに、滑膜内において脂肪変性、線維化、マクロファージの活性化が連動して進行する過程が明らかとなった。さらに、特定の細胞集団において、組織破壊につながる異化作用が誘導されることが示唆された。本成果は、顎関節症の分子病態の理解を深化させ、将来的な分子標的治療の開発に資する基盤的知見を提供するものである。



研究デザインの概要

リリース時タイトル／【昭和医科大学】顎関節症の発症メカニズムを細胞レベルで可視化 — 空間トランスクリプトーム解析により滑膜の分子病態を解明—

本件に関する問い合わせ先／昭和医科大学 統括研究推進センター 准教授 矢野文子 TEL：03-3784-8000 E-mail：fumikoyano@dent.showa-u.ac.jp

かかりつけ薬剤師制度の有益性を検証 死亡リスク低下に関する仮説を生成



昭和医科大学の池谷怜講師らは、高齢者が「かかりつけ薬剤師」をもつことの有益性について、全国規模の医療情報データベースを用いて検証した。その結果、かかりつけ薬剤師をもつ高齢者では死亡リスクが低い可能性を示す仮説が生成された。本研究成果は国際誌「JAMA Network Open」に掲載された。

日本では2016年にかかりつけ薬剤師制度が導入され、継続的で一貫した薬学的支援による医療の質向上が期待されている一方、制度利用に伴う費用負担に見合う有益性の実証が課題とされてきた。そこで本研究では、「DeSC保険者データベース」を用い、75歳以上で循環器疾患や内分泌疾患の治療を受ける約4.5万人を対象に、入院や死亡といった健康に関わる重大な事象を指標として分析を行った。その結果、入院と死亡を合わせたリスクにおいて差は認められなかったが、死亡のみを対象とした分析で

は、かかりつけ薬剤師をもつ高齢者でわずかに死亡リスクが低い傾向が認められた。また、この傾向は特に心不全患者で顕著であった。ただし、本研究では社会的背景因子を考慮できていないなどの課題があるため、結果は慎重に解釈する必要がある。今後は費用対効果や対象疾患の拡大を含めた検証も重要であり、制度改正を見据えたさらなる検討が期待される。

リリース時タイトル／【昭和医科大学】かかりつけ薬剤師の有益性を全国規模のデータで検証 — 高齢患者約4.5万人を対象に解析、死亡リスク低下に関する仮説を生成

本件に関する問い合わせ先／昭和医科大学大学院 薬学研究科 薬剤疫学分野 講師 池谷 怜 お問い合わせ：以下のフォームからご連絡ください。
<https://forms.gle/Gb1K8pUz7ohJYcy6> (googleフォーム)

2026.4.1

式典・行事

入職式を挙行 新たなチーム医療の仲間を歓迎

4月1日、明治神宮会館にて令和8年度学校法人昭和医科大学入職式を挙行し、今年度は904名の新入職員が、昭和医科大学で新たな一歩を踏み出した。開式に先立ち、ショパンコンクール金賞受賞者の根本海美さん（薬学部4年）によるピアノ演奏が行われ、会場は多くの拍手に包まれた。そして、小口勝司理事長が訓示、上條由美学長が祝辞をのべた。

上條学長は祝辞で「医療は決して医師と看護師だけで完結するものではありません。薬剤師、臨床検査技師、そして病院の運営や患者さんと窓口で対応する事務職員、本日この場にいらっしゃる皆さん全員が、チーム医療の一端を担う欠かせない一員であり、同じ使命を持った仲間です。立場を越えて互いを尊重し、活発な対話を通じて、より良い医療を提供するための体制を一緒に作っていきましょう」と述べた。

その後の講演では、小口理事長が「本当に学ぶべきもの、本当に得なくてはならないものは、社会に出てから得ると思います。学生時代に苦労して勉強してきたものが、現場ではあっという間に身につきます。それだけの責任感があって初めて、身につく学習ができると思います。皆さんはこれから社会人として本学に奉職して、十分な訓練を受けて、社会に還元していただきたいと思いま

す。皆さんのこれからの人生にとって、本学での経験が有意義であることを願っております」と述べ、新入職員の奮闘に期待を寄せた。

式では辞令交付、新入職員宣誓、昭和医科大学宣言の唱和、校歌斉唱、学祖である上條秀介博士の生涯を描いた『上條秀介物語』の動画上映が行われたほか、本学と包括連携協定を締結している洗足学園音楽大学のミュージカルコースの学生らによるパフォーマンスが披露され、会場は賑やかな雰囲気にも包まれた。

そして今年度は、スペシャルゲストとして本学職員で、ミラノ・コルティナオリンピックにアイスホッケー日本代表として出場した、飯塚祐司監督（人事部）および小山玲弥選手（総務部）がサプライズで登場した。世界の舞台上で活躍した二人から、新入職員に向けて温かいエールが贈られた。



洗足学園音楽大学の学生らによるパフォーマンス

2026.4.4

医学研究科 歯学研究科 薬学研究科 保健医療学研究科 式典・行事

大学院入学式を挙行 研究者の道へ踏み出した108名

4月4日、令和8年度昭和医科大学大学院入学式を上條記念館にて挙行し、医学研究科42名、歯学研究科30名、薬学研究科18名、保健医療学研究科の博士前期課程15名と博士後期課程3名のあわせて108名が、研究者としてのスタートを切った。

上條由美学長は告辞で「これから研究生活を始められる皆さんに2つ、大切にしてほしいことがあります。1つ目は、現場の問いを正しく認識して、科学の言葉に変えること。2つ目は、研究においても『チーム医療』を大切にしてほしいということ。研究者の道は必ずしも平坦なものではないかもしれませんが、異なる視点を持つ仲間と共に切磋琢磨し、真摯な探求心を忘れずに努力を重ねてください」と述べた。

小口勝司理事長の祝辞に続き、研究科長を代表して泉崎雅彦医学研究科長から挨拶があった。

泉崎医学研究科長は「仕事との両立や研究への適性など、多

くの方が不安や悩みを抱え、この一歩を踏み出されたかと思います。ただ、これからの経験と得られる学位は、皆さんの将来の選択肢を大きく広げるものになります。今ここで第一歩を踏み出したことは、本当に価値あることだと思いますので、修了まで一緒に走っていきましょう」と激励の言葉を送った。

最後に、昭和医科大学宣言の唱和や校歌斉唱が行われ、閉式となった。

閉式後は、上條記念ミュージアムの見学や、新入生オリエンテーションを実施し、カリキュラムや学位取得までの課程について熱心な指導が行われた。



式典の様子

2026.3.24

医学研究科 歯学研究科 薬学研究科 保健医療学研究科 式典・行事

大学院修了式を挙行 研究への情熱とさらなる飛躍を願う

3月24日、令和7年度昭和医科大学大学院修了式を上條記念館で挙行し、医学研究科28名、歯学研究科22名、薬学研究科15名、保健医療学研究科博士前期課程16名、保健医療学研究科博士後期課程2名、合わせて83名が研究者としての門出を迎えた。

はじめに上條由美学長から告辞があり、続いて小口勝司理事長から祝辞、研究科長を代表して高見正道歯学研究科長からの挨拶があった。

上條学長は告辞で「皆さんは研究に情熱を注ぎ、新たな知見を得て、それを論文としてまとめ、世界に公表することができました。これらの知見が学術進歩の一助となることを期待しています。これからも研究を継続し、未知なる世界に飛び込み、探究を続けてほしいと思います。修士号を取得された方には、博士課程への進学をお勧めします。博士課程を修了された方々は、後進の育成にも力を注いでいただきたいと思います。皆さんのご活躍を期待しております」と修了生のさらなる飛躍に期待を寄せた。

高見正道歯学研究科長は、「これからリーダーになれる皆さんに2つほど助言をしたいと思います。1つは、部下や同僚を大切にしてほしいということ。言葉は人を励ますこともあれば、傷つけることもあります。厳しいことを伝える際には、伝え方に特に気を付けていただきたいと思います。もう1つは、困難に直面したときは“捨て身”の覚悟で挑んでほしいということ。物事は思い通りに進まないことも多いですが、粘り強く挑めば道は開けます。皆さんが医療の世界の素晴らしいリーダーになることを期待しています」とエールを送った。

そして、在学中に学業・人物ともに優秀であった修了生に贈られる上條賞の授与が行われた。



各研究科長からの学位記授与

2025.12.2

国際交流

タイ3大学との学部間協定を締結 広い視野で患者や現場と向き合える人材の育成へ

2025年12月、昭和医科大学医学部および保健医療学部は、国際的視野を備えた医療者養成を推進するため、タイの主要大学と新たに学部間協定を締結した。

本協定は、各学部における海外実習の受け入れ体制を充実させるとともに、本学の医療専門職が国際的な臨床現場で協働する力を育成することを目的としている。

医学部 マヒドン大学シリラート病院医学部（バンコク）

マヒドン大学シリラート病院医学部は、1888年創設のタイ最古の医学部であり、同国の医療を牽引する存在。国内最大規模の大学病院を基盤に、希少疾患から高度先進医療まで幅広い診療を行っている。国際水準の臨床教育環境は、本学医学部学生にとって極めて貴重な学修機会となる。

医学部 ワライラック大学医学部（ナコンシータマラート）

ワライラック大学医学部は、広大なキャンパスに複数の大学病院を擁する医学部。充実した教育・生活支援体制のもと、世界各国から広く留学生を受け入れている。本協定により、医学部学生の海外選択実習における実践的な学修機会の拡充が期待される。

医学部 保健医療学部 プリンズ・オブ・ソンクラ大学医学部（ハートヤイ）

プリンズ・オブ・ソンクラ大学医学部は、タイ南部における学問の中核を担う国立の総合大学。今回、本学の医学部および保健医療学部が学部間協定を締結し、医学・リハビリテーション学領域を含む教育における国際連携が正式に開始された。

昭和医科大学は今後も、医療者教育の質を一層高めるため、戦略的かつ持続可能な国際連携を推進していく。



1 マヒドン大学シリラート病院医学部のAsavamongkolkul医学部長と固く握手 2 ワライラック大学医学部との調印式でサインをするPunsawad医学部長と松山高明教授 3 プリンズ・オブ・ソンクラ大学と医学部との協定書。左から、土屋静馬教授、小風暁医学部長、上條由美学長、宮崎隆国際交流センター長、松山高明教授 4 プリンズ・オブ・ソンクラ大学と保健医療学部との協定書。左から、加賀谷善教授、鈴木久義保健医療学部長、田中晶子教授

看護専門学校入学式を挙行

誠実・真摯・謙虚さを備えた看護師への成長を願う

4月2日、第63回昭和医科大学附属看護専門学校入学式を上條記念館で挙行し、新入生163名が看護の道への決意を胸に第一歩を踏み出した。

木内祐二学校長は告辞で「本日入学された皆さんは、新校名となって2期目の新入生です。これからの3年間で、『至誠一貫』と『清楚な美』という精神を大切に、誠実さ、真摯さ、謙虚さといった内面の美しさを備えた看護師を目指してください。仲間と共に学び、多職種と協働し、患者さんとその家族を支える『チーム医療』の担い手として成長されることを祈っています」と述べ、新入生へ期待と歓迎の言葉を送った。

続いて、小口勝司理事長、上條由美学長から祝辞があった。

上條学長は「本学の偉大な先輩であり、フローレンス・ナイチンゲール賞を受賞された鈴木モヨ先生は、技術だけではなく、患者さんに誠実に向き合う姿勢を何よりも大切にされました。皆さんもこの精神を大切に、誇りをもって看護への一歩を踏み出してください」と述べ、新入生の今後の活躍に期待を寄せた。

最後に新入生代表による昭和医科大学宣言が行われ、看護専門学校の歌を斉唱して閉式となった。



新入生代表による昭和医科大学宣言

看護専門学校卒業式 至誠一貫を胸に刻み巣立つ139名

3月6日、第60回昭和医科大学附属看護専門学校卒業式を上條記念館で挙行し、本年度は139名が卒業を迎え、木内祐二学校長から総代へ卒業証書が授与された。

木内学校長は告辞で、「誠実な心を大切に患者さんに寄り添い、本校そして昭和医科大学の歴史と理念を未来へつなぐ存在として活躍されることを期待しています」と述べ、卒業生の門出を祝福した。

また、上條由美学長は祝辞で、「知識や技術に加え、患者に寄り添う温かな心と学び続ける姿勢を持って、看護師として大きく成長してほしい」とエールを送った。

卒業生代表は答辞で3年間の学生生活を振り返り、「支えてくれたすべての人への感謝を胸に、学びと絆を力として誠実に看護の道を歩み続けます」と決意を述べた。

このほか、式典では小口勝司理事長からの来賓祝辞が述べられ、在学中に学業・人物ともに優秀であった卒業生に贈られる鈴木モヨ賞、石井満賞、昭桜會賞の授与も行われた。

最後には、応援指導部による演舞が披露され、卒業生へ力強いエールが送られた。



卒業証書授与

助産学専攻科入学式

助産師を目指しさらなる修学に臨む14名

4月4日、令和8年度昭和医科大学助産学専攻科入学式を上條記念館にて挙行し、助産師を志す14名が入学した。

上條由美学長は告辞で「皆さんがこれから学ぶ助産学は、単に医療技術の修得だけではなく、女性の一生に寄り添い、そして新たな家族の門出を共にする人間学の一部でもあります。1年後に皆さんが、豊かな人間性と確かな技術を持った助産師として活躍できることを心から願っております」と述べた。

その後、小口勝司理事長、林美緒助産学同窓会長より祝辞があり、最後に下平和久助産学専攻科長から挨拶があった。

林同窓会長は自身の経験を振り返って「助産師にとって本当に大切なものは、正しい知識や技術だけではなく、一人の人間として尊重しその方の人生に関心を持つこと、一人ひとりの違いを認め向き合うこと、そして、医療者としての正しさを振りかざさないこと、これらが助産師としての関わり方の土台になると感じて

います。皆さんのこれからの歩みが温かく、実り多いものになることを願っております」と述べ、新入生へエールを送った。

下平専攻科長は「日本の周産期医療を支え、女性のすべてに寄り添うMidwife（＝女性と共にある人）として、皆さんには広範な知識、練磨された技能、そして高い倫理性を持った立派な助産師になって、本学を巣立って行ってほしいと考えています。これからの1年で、助産観というものをしっかり作り上げて、さらに磨いていってください」と述べ、新入生の今後の成長に期待を寄せた。

式では昭和医科大学宣言の唱和、校歌斉唱のほか、新入生代表による保護者の方々への挨拶が行われ、助産師としての道を歩む決意を新たにしました。

本学で助産師を志す学生は、学士課程を卒業後、助産学専攻科に進学し、専門科目を1年間学修する。



新入生の言葉

助産学専攻科の修了式を挙行 出産を支える専門職の誇りと共に

3月13日、令和7年度昭和医科大学助産学専攻科修了式を上條記念館にて挙行した。

所定の課程を修了した13名に上條由美学長から修了証書が授与された。

上條学長は告辞で「皆さんは助産師としての基礎的な能力だけでなく、高度化する周産期医療に柔軟に対応する能力、多職種と連携する知識や行動力など、将来にわたって『患者さん本位の医療』を実現できる能力を身につけられました。理想の助産師像に近づこう自己研鑽を続けるとともに、後輩の育成にも力を発揮してください」と述べ、修了生へ激励の言葉を送った。

その後、小口勝司理事長、水井美生助産学同窓会副会長から祝辞があった。

下平和久助産学専攻科長は挨拶で「1年前の入学式で、私は『年年歳歳花相似たり 歳歳年年人同じからず』という詩を

引用し、来年桜が咲く頃までにどれだけ自分が変わるかという話をしました。この1年間で皆さんは、確固たるかつ柔軟な『助産観』を形成し、確かな知識と実践力を備え、今まさに大きく花開こうとしています。その軸があれば、どのような状況でも対応できるはずです。女性のライフイベントを支える専門職として、自信を持って世界へ羽ばたいてください」と、エールを送った。

また、1年間の課程における成績優秀者に贈られる助産学専攻科長賞、実習時における成績優秀者に贈られる助産学同窓会長賞の授与が行われた。

修了生代表による昭和医科大学宣言が行われ、最後に記念撮影を行い、閉式となった。



記念撮影

新たな医療人の門出を祝う卒業式

3月17日、令和7年度昭和医科大学卒業式をパシフィコ横浜国立大ホールで挙行し、544名が医療人としての門出を迎えた。

上條由美学長は告辞で「医療現場での実践に必要な3つの姿勢として、患者さんの小さな訴えに耳を澄ませてよく聞くこと、不安を和らげる言葉を選び、伝えること、確かな知識と技術で患者さんの尊厳を守ること。この3つを意識しながら、日々を積み重ねていくことで『至誠一貫』を体現する医師になっていただきたい」と述べた。

続いて、小口勝司理事長は祝辞で「世界各地で続く戦争や国家間の緊張、国内における少子高齢化、長期的に増え続ける医療需要など、社会情勢は大きく変化しています。しかし、そのような時代であっても、医療や教育の本質は決して揺らいではなりません。どれほど社会が変わろうとも、医療人は常に『誰かの幸せのために働く存在』であります。医療人として成長していくためにも、私たち自身が幸せであること、そして人を幸せにすること、その両方を大切にしてください」と今後の活躍に期待を寄せた。

また、在学生代表は送辞で「試験勉強や臨床実習など、医療現場に向き合う先輩方の背中を、私たちはいつも追いかけていました。先輩方が作ってくださった温かく誠実な学びの環境があったからこそ、私たちは安心して学生生活を送ることができました。皆様はそれぞれの場所で、唯一無二の輝きを放つはず。私たちが在学生一同、心から応援しています。また、皆様の志を受け継

ぎ、私たちも医療人として成長していきます」と卒業生への激励の言葉を送った。

卒業生代表は答辞で「講義や演習で多様な価値観に触れ、自分の考え

を深め、医療者として必要な視野を広げる大きな糧となりました。また、実習や試験に追われる毎日の中で、お互いを励まし合いながら支え合ってきた仲間たちとの絆は、これからの人生においても大きな支えになると思います。一人では乗り越えられないことも、仲間や医療チームとともに必ず乗り越えられると確信しています」と抱負を述べた。

また、在学中に優秀な結果を残した卒業生に贈られる上條賞、同窓会賞、上條旗ヶ岡賞、そして最優秀スチューデント・インストラクター賞の授与が行われた。

式典の後半では、グリークラブの合唱や応援指導団によるパフォーマンスが行われ、会場は賑やかな雰囲気包まれた。

式典終了後は各学部で学位記伝達式が執り行われ、学部長から一人ひとりに学位記が手渡された。



卒業生代表の答辞

特別協定校・包括連携協定校で薬学出張授業を実施

大学の特別協定校である昭和女子大学附属昭和中学校、昭和女子大学附属昭和高等学校、包括連携協定校である品川女子学院の生徒を対象に、肥田典子教授（薬学部臨床薬学講座臨床研究開発学部門）が出張授業を実施した。

毎回ともに、最初のうちは緊張しつつも、授業が進むにつれ、積極的な姿勢がみられ、最後まで熱心に授業に取り組んでいた。

今後も本学と両校は様々な相互交流を通じて、高大連携を強めていく。

※出張授業講師

肥田 典子 教授 三邊 武彦センター長（統括研究推進センター）

開催日と授業の内容は下記のとおり。

品川女子学院 2月12日「医薬品開発における医療従事者の役割」

昭和女子大学附属昭和中学校 2月17日「薬学系の授業 ～薬が効くプロセス～」

昭和女子大学附属昭和高等学校 2月24日「医薬品開発における医療従事者の役割」



1 品川女子学院での授業の様子 2 昭和女子大学附属昭和中学校での授業の様子 3 昭和女子大学附属昭和高等学校での授業の様子

昭和女子大学附属高校で出張授業

2月17日、川添和義教授（薬学部臨床薬学講座天然医薬治療学部門）が、大学の特別協定校である昭和女子大学附属昭和高等学校にて、スーパーサイエンスコースの1年生を対象に「自然の薬を『化学』で調べてみよう」というテーマで出張授業を実施した。

授業では、実際の生薬等を使って、においを嗅いだり薬品を加えたりしながら確認試験を行い、未知の検体が何かを調べました。生徒たちは意欲的に検体を調べ、中身が判明すると歓声が上がっていた。

授業後は本学在学中のチュードント・インストラクターと懇談会を行い、どのように進路を決めたかや勉強方法などについて、生徒からたくさんの質問が寄せられた。

今後も両校は様々な相互交流を通じて、高大連携を強めていく。

※出張授業講師

川添 和義 教授（薬学部臨床薬学講座天然医薬治療学部門）

高山 健人 准教授（同） 小池 佑果 講師（同） 伊藤 ほか 助教（同）



授業の様子

大学院留学生修了証授与式・懇親会

3月2日、令和7年度大学院留学生修了証授与式および懇親会を上條記念館で開催した。

宮崎隆国際交流センター長から開会の挨拶の後、大学院留学生の母国の駐日大使館関係者や指導教員らが見守るなか、研修を終えた6名に上條由美学長より修了証が授与された。

留学生の代表として、歯学部口腔生化学講座で学んだシュエ・フェイさん（中国）が、昭和医科大学での1年間の思い出と帰国後の抱負を日本語も交えて述べた。

懇親会では、松山高明教授（医学部・医学研究科国際交流委員

長、医学部法医学講座）による乾杯の発声、留学生と指導教員等によるスピーチなどが行われ、留学生、本学教育職員、および大使館関係者が親交を深めた。

本学での研修を修了した6名は帰国後、母国の教育施設などにおいて、それぞれ教育や研究あるいは診療に従事する。

昭和医科大学は今後も積極的に留学生を受け入れ、国際交流活動に活発に取り組んでいく。



懇親会の様子

令和8年度入学試験が終了

一般選抜入試は、五反田TOCおよび旗の台キャンパスの試験場で行われた。

一般選抜入試 令和8年度入学試験結果

令和8年4月1日現在

学部	入試区分	募集人員	試験日	志願者数	合格者数	
医学部	一般選抜入試 (I期)	76		2,720	206	
		新潟県	7	88	7	
		静岡県	8	一次 令和8年2月6日(金) 二次 令和8年2月14日(土)または15日(日)	192	8
	地域枠選抜入試	茨城県	4	※地域枠選抜入試の二次は 令和8年2月14日(土)のみ	51	4
		山梨県	2		13	1
		長野県	2		40	2
	一般選抜入試 (II期)	12	一次 令和8年3月7日(土) 二次 令和8年3月14日(土)	1,550	16	
歯学部	一般選抜入試 (I期)	42	令和8年2月5日(休)	401	78	
	大学入学共通テスト利用入試	5	大学入学共通テスト 令和8年1月17日(土)・18日(日) 面接試験 令和8年2月5日(休)	163	23	
	一般選抜入試 (II期)	5	令和8年3月8日(日)	134	10	
薬学部	一般選抜入試 (I期)	95	令和8年2月5日(休)	251	148	
	医学部一般選抜入試 (I期) 利用の 薬学部併願入試	4	一次 令和8年2月6日(金) 二次 令和8年2月14日(土)または15日(日)	97	18	
	大学入学共通テスト利用入試	5	大学入学共通テスト 令和8年1月17日(土)・18日(日) 面接試験 令和8年2月5日(休)	136	36	
	一般選抜入試 (II期)	15	令和8年3月8日(日)	100	45	
看護学科	一般選抜入試 (I期)	30	令和8年2月5日(休)	281	69	
	大学入学共通テスト利用入試	4	大学入学共通テスト 令和8年1月17日(土)・18日(日) 面接試験 令和8年2月5日(休)	136	11	
	一般選抜入試 (II期)	若干名	令和8年3月8日(日)	66	4	
保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻	一般選抜入試 (I期)	13	令和8年2月5日(休)	67	26	
	大学入学共通テスト利用入試	2	大学入学共通テスト 令和8年1月17日(土)・18日(日) 面接試験 令和8年2月5日(休)	50	14	
	一般選抜入試 (II期)	若干名	令和8年3月8日(日)	26	1	
	一般選抜入試 (I期)	5		13	8	
			令和8年2月5日(休)			
	理学療法学専攻一般選抜入試 (I期) 利用の 作業療法学専攻第二希望併願入試	若干名		9	6	
大学入学共通テスト利用入試	1	大学入学共通テスト 令和8年1月17日(土)・18日(日) 面接試験 令和8年2月5日(休)	18	10		
一般選抜入試 (II期)	若干名		3	0		
理学療法学専攻一般選抜入試 (II期) 利用の 作業療法学専攻第二希望併願入試	若干名		5	2		

医学部

選抜Ⅱ期で倍率100倍越え！

医学部の令和8年度入試は、選抜Ⅰ期・Ⅱ期それぞれの特徴を反映した志願動向がうかがえました。Ⅰ期では安定した志願者数と高い競争性が維持され、着実に選抜が実施されました。一方、Ⅱ期では多様な背景を有する志願者が集まり、昨年より約300名増加し、倍率も100倍を超える水準となり

医学部長 小風 暁

ました。18歳人口の減少が進む中、両区分を通じて本学への入学を熱望する学生を迎えるため、志願者の質の向上と安定的な確保の両立が望まれます。今後は入試制度の不断の検証と工夫も重要となります。新入生には高い志と主体的な学修姿勢をもって学びを深め、将来の医療を担う人材として着実に成長していくことを期待します。

歯学部

志願者数の増加と新キャンパスへの期待

歯学部の一般選抜入試（Ⅰ期）は2月5日に実施され、定員42名に対し401名の出願がありました。また、同日に実施された大学入学共通テスト利用入試では、定員5名に対し163名の出願がありました。さらに、3月8日に実施した一般選抜入試（Ⅱ期）においても、定員5名に対し163名の出願

歯学部長 馬場 一美

がありました。これらの結果、年内入試を含めた志願者数は合計872名となり、前年に比べて100名の増加となりました。来年4月には鷺沼キャンパスが完成し、新入生の皆さんは富士吉田キャンパスにおける全寮制教育を経て、2年次より同キャンパスで学ぶ最初の学年となります。新たな教育環境のもとで、充実した学生生活を送り、大きく成長されることを心より期待しております。

薬学部

シン・臨床薬剤師を目指す入学者を選抜

薬学部一般選抜入試（Ⅰ期）を2月5日に実施し、251名の志願者から特待生合格者96名、追加合格者52名を発表しました。医学部一般選抜入試（Ⅰ期）利用の薬学部併願入試には97名が出願し、合格者4名、追加合格者14名を選抜しました。大学入学共通テスト利用入試には136名が出願し、

薬学部長 原 俊太郎

合格者5名、追加合格者31名でした。一般選抜入試（Ⅱ期）は3月8日に実施し、100名の志願者から合格者15名、追加合格者30名を発表しました。

4月からの新入生の方々が、富士吉田から始まる学生生活を通じ、「至誠一貫」の精神を体現できるシン・臨床薬剤師へと成長してくれることを期待しています。

保健医療学部

各学科で志願者大幅増

2月5日実施の一般選抜入試Ⅰ期では、看護66名、理学26名、作業14名の計106名を、大学入学共通テスト利用入試（面接）では、看護4名、理学14名、作業10名の計28名をそれぞれ合格者として発表しました。また、3月8日実施の一般選抜入試Ⅱ期では、看護4名、理学1名、作業2名の計7名を合格者としてしました。令和8年度の志願者は前年度と

保健医療学部長 鈴木 久義

比較して、すべての学科・専攻で大幅に増加しました。学生納付金の減額、一般選抜Ⅰ・Ⅱ期入試における理科出題範囲の変更等が志願者の増加に繋がりました。令和9年度はいよいよ新学科・新専攻における選抜も開始となりますので志願者のさらなる獲得に向けて努力したいと思います。また、4月には元気で意欲に満ちた新入生を富士吉田でお迎えしたいと思っています。

卒業生一覧 4学部・専門学校

医学部 医学科 | 第94回生… 123名

青木優汰・秋庭真結・芦谷拓哉・阿部文香・天野康平・天野悟・飯田すず・飯田千尋・池田天磨・石川明希・石川拓磨・石塚千紜・磯部一世・一瀬茉弘・井出勘介・伊藤友梨那・犬谷曜人・岩田顕徳・上杉理穂・上野眞子・右近初奈・内田菜月・内野信人・梅原実菜子・榎田万葉・遠藤祐紀・大川浩世・大木湧司・大久保春希・大津京音・岡村幸之助・岡本裕介・沖田花奈・越智夏子・小野真優・小原光・金子嘉那・金子怜未・川田果怜・神戸遙・木内阜太郎・北谷香菜子・城戸翔太・木下諒・金泰炅・小金井智博・小林洸・齊藤航平・榮奎人・櫻庭大生・笹元凌・佐藤加奈子・佐藤はるか・柴田潤輝・白川怜・杉崎祐太郎・杉本匠・諏訪美菜子・武田香蓮・田嶋ひな子・田邊由梨亜・塚本貴将・塚本凌平・中尾美貴・中尾蓮次郎・中島華菜・長田知樹・中西巧・中野来美・中横ひなの・滑澤理乃・新津谷孝・野本祥太・橋口泰典・橋本侑奈・畠山優花・原一輝・原柚綺・原田祐太・日野麻奈美・平井優・平野慧都・福井正也・福田凜・福村温香・藤井貴大・藤田鉄平・古屋健太郎・細井友貴・細田亮子・本宮菜帆・眞塩凌大・松下城・松下知也・松原功季・松村昌佳・松本泰輔・松山真彦・丸田海斗・丸久まゆ・三上沙和子・見崎友香・美島秀俊・三谷実加・峯岸直哉・宮内結莉亜・宮下慈・村上洸・矢島瑞己・山口慶樹・山口るり子・山腰麻菜美・山崎健斗・山下舞・横山太一・横山侑以子・依田紋奈・和田功・渡部夏穂・渡部瑞貴

（ほか3名）

歯学部 歯学科 | 第44回生… 93名

浅山遥・阿部里咲・荒川知美・池上和輝・池田彩乃・池本慎太郎・石原実樹・磯野志帆・入江有紀・岩城瑞貴・岩崎晃穂・馬越崇・岡田知宏・落合里穂・貝原卓介・加賀谷康輝・嘉島杏・金子瑞花・下保怜々・嘉陽さくら・河合駿・河北紳吾・葛原華子・藏本結美子・呉悠・小石夏綺・小岩井泉希・児島悠介・小林珠翠・小森亘・齊藤芽・坂井笙乃・坂本好・佐々木桜花・佐野日向子・塩田光太郎・重森吉貴・島倉玲未・清水美咲・杉木秀光・数味紀香・高島沙英・高橋亮平・田代安美・田中翔・谷田悠・玉橋佑馬・堤由以子・鶴岡藍・土岐慧都・土肥幸暉・中川結彩子・仲澤友梨子・中舘篤就・中西慧・長野桜子・中村かれん・中村優花・中屋和樹・西岡巧真・根間大輔・服部文香・華岡修大・濱田和哉・兵藤茉莉夏・平石眞珠・廣谷樹・藤田理瑚・藤谷春河・古川愛梨・古田英臣・朴友紀・星野凜・巻嶋奏・松原勇太・松山拓杜・水谷朋花・水野正太・宮脇朗・村上真郁・村山はづき・望月健太郎・百瀬楓香・森健太郎・梁彰悦・山口貴史・山下りず・山田大貴・横山由卯菜・義田健人

（ほか3名）

薬学部 薬学科 | 第58回生… 168名

青木俊樹・赤堀朋香・浅倉美幸・浅野有希・麻生里奈・新井璃子・荒船伽帆・蟻川万結・飯塚拓真・飯塚美結・池田絢香・石川託也・石川智尋・石村和也・市川舞・井手佑一郎・伊藤駿・伊藤優那・稲留真那・稲葉あかり・稲村武思・今関友香・今村琴音・岩間梨南・印南薫乃・上杉綾・内山湧太・生方詩乃・梅本才輝・江田佳穂・榎本絵里子・大野良祐・大橋由佳・岡部鈴・荻野晴菜・尾崎翔音・小田暁斗・小貫敬太・小野塚太一・加賀美穂乃・攪上真菜・笠神朋花・片岡愛結・加藤琴巳・加藤大地・金子亜佐美・金子明日星・川合悠子・川口真由・川口玲音・川名小百合・川原茉侑・菊地亜実・菊地晃平・喜早梨帆・橋田乃綾・木村優希・久保木菜緒・熊野玲南・倉塚紗・栗田菜々美・黒木麻衣・小泉真人・幸田純奈・古賀莉果子・小嶋花純・坂居京香・佐久間諒・櫻井志帆・佐々木桜・佐藤千佳・佐藤実乃里・佐藤美祐・佐藤莉央・塩野智哉・清水愛生・清水七菜・清水美帆・菅沼初菜・杉本亜美・關郁実・関佑華・関川真聖・添野佑馬・孫永旭・高岡寛季・高野奏汰・高橋慧・高橋優里佳・竹田優介・竹中勇登・武部麻依・竹村早由・田島華帆・田鍋もも子・丁野純理・坪倉巧真・坪島叶典・苔米地尚果・鳥居瞳子・永井希実・中澤彩音・長島佑季・中田心・中戸川未来・中野愛吹・中道万結・中村壮汰・中山藍・面田彩優美・西脇莉来・野口雄平・橋口真由子・長谷川采香・畑本参・濱田美由・原多花音・原田幸歩・原田侑奈・春田董・東英里佳・東美緒・飛田野安優・姫浦真由・平山昇吾・弘重悠里・笛木滯・船津大輔・星野奈央・細見望衣・堀越優奈・松村裕菜・松本麗矢・三井所明香・宮内彩夏・宮岡優衣・宮坂安菜・宮崎湧太・宮本詠士・宮本このみ・三好麻白・武藤悠希・森悠歌・森梨々華・森島悠貴・森永桃加・矢部伊吹・山口慧士・山崎惠理・山崎大徳・山崎菜津美・山田佳帆・山田陸・山田璃音・山本志保里・山本光優・湯川朱夏・吉井友実・吉住夏輝・吉田智哉・依田直之・若松大樹・渡辺佳愛子・渡邊菜美・渡会遥香

（ほか3名）

保健医療学部 看護学科 | 第26回生… 115名

赤松杏里紗・東加奈子・天田沙希・雨宮禪・石井愛菜・石川絢・石塚心・石原未友・石本有紗・磯辺菜摘・市川ななみ・伊藤夏希・伊藤穂香・伊藤唯・井上結愛・植村美羽・牛嶋月菜・大内沙織・大賀沙耶・大木美羽・大久保陽色・大嶋美帆・大滝理央・岡田佳音・小幡実璃・加藤緋菜・加藤美鈴・神原由羽・木岡菜津実・桐生大輔・草場帆香・熊丸あかり・栗原未有・黒田結・小出侑奈・小曾根千紜・後藤愛菜・小林琉奈・近藤優月・坂本葉月・佐々木詩愛・笹島あかり・笹原麻衣・流石彩香・佐藤七海・佐藤美沙・沢田華・篠浦るな・篠原陽菜・柴山茉莉亜・菅原結衣・鈴木沙希恵・須磨杏果・高橋くるみ・高間美緒・滝元優子・田中あゆ菜・田中もも・谷川凜・谷山愛香・田原美咲季・民谷葵・出口真裕子・通山美涼・中城理宝・中出桃香・中村圭佑・中村美咲・西村香花・二艘木結音・野木真優子・舘島愛・橋本

昨年度に続き全試験で高水準の新卒合格率を維持

令和7年度の医師・歯科医師・薬剤師・看護師・助産師・理学療法士・作業療法士の国家試験合格者が順次発表され、多くの国家試験で全国合格率を上回る結果となった。

新カリキュラム第1期生の健闘 — 新卒合格率94.3% —

医師 第120回医師国家試験が、令和8年2月7日および8日に実施されました。

本年度の6年生は、本学新カリキュラムを履修した第1期生であり、123名全員が卒業のうえ受験に臨みました。その結果、新卒では116名が合格し、新卒合格率は94.3%、既卒受験者を含めた全体の合格率は91.8%（全国平均91.6%）となりました。

出願者数に対して受験者数を絞る大学も少なくない中、本学では2年次の留年者3名を除き、ほぼ全員が修業年限内に進級・卒業し受験に至りました。ストレート卒業率は93.6%と、全国平均（約80%）と比較し非常に高い水準にあります。

本結果は、新カリキュラムの方向性が一定の成果を示したものと受け止めております。来年度は新卒合格率100%の達成を目標に、教職員一丸となって取り組んでまいります。

医学部教育推進室長 泉 美貴

第120回医師国家試験

試験日 令和8年2月7日(土)・2月8日(日)

合格発表 令和8年3月16日(月)

	全国	私立大学	昭和医科大学		
			全体	新卒	既卒
受験者	9,980名	3,672名	134名	123名	11名
合格者	9,139名	3,397名	123名	116名	7名
合格率	91.6%	92.5%	91.8%	94.3%	63.6%

学生・教員が一体となった教育体制の成果 — 全29大学中2位の好成績 —

歯科医師 第119回歯科医師国家試験結果が発表され、本学は全国平均合格率61.9%に対し90.0%で国公立を含めた29大学中2位、新卒は94.6%の合格率で3位、私立17大学中では2位という成績でした。過去10年で最低の合格者数1,757名という難関の試験の中、新卒は93名受験して88名が合格できた背景には、学生自身の頑張りと、成績下位学生への教員による修学支援の徹底、特別奨学生である大学院生による学修サポート、国試対策委員による学生相互の学習支援体制など学生と教員とが一体となって取り組んだ成果だと考えます。ご協力いただいた全ての方々に感謝を申し上げるとともに、今後も今回の結果に続くことができるように取り組んでまいりたいと思います。

歯学部教育委員長 船津 敬弘

(ほか5名)

修了生一覧 大学院・専攻科

昭和医科大学大学院

令和7年度春季修了生

医学研究科 | 28名

相澤直樹・安逸菲・及川脩・大草健弘・大城剛志・角藤結莉・梶尾優希・阪倉俊介・清水啓介・白神佳枝・須貝隆之・杉山拓士・鈴木梨沙子・辰尾秋斗・徳永良太・中村明弘・沼尻祐貴・花房慶太・樋口大樹・富士貴弘・北條真鈴・松井美彩子・宮田裕輝・見代健太・森大地・吉川浩介・吉澤友里・渡辺晃大

歯学研究科 | 22名

阿部拓樹・飯岡康太・幾瀬葵・遠藤美紀・大西麻由・奥原志織・上川正悟・北村直己・小嶋禎子・杉本卓海・鈴木鵬生・須永克・砂川厚実・田畑友寛・中島和希・中山允貴・根岸宗一郎・平山茉奈・藤田昭彦・松沢喜姫・松野栄莉佳・松山萌美

薬学研究科 | 15名

岡本祥史・熊谷智樹・野見真人・塩田剛太郎・李建宇・石田美智・上野慎一郎・小林莉紗・坂間利奈・下平智秀・城野詩織・住友健太・芹澤風香・平田彩・伴緋美子

保健医療学研究科(前期) | 16名

浅水翔太・市川湧子・江原真人・大久保詠美・大桃真裕・覚井美奈子・黄駿佑・小林知世・佐立優香・鈴木雅展・田島瑞樹・田中大夢・戸田成美・古澤由衣・松井遥・妻鳥文香

保健医療学研究科(後期) | 2名

大戸恵介・下貴裕

助産学専攻科

助産学専攻科 | 14名

大橋葵・大堀綾・岡侑花・金谷園香・岸本恵里・木村愛海・熊谷風優・桑原佳鈴・古泉里奈・阪田優菜・菅野菜々美・中村美波・畑山実里・平賀詩乃

知可子・日置優海・平嶋さら・藤本瑚雪・舟久保七海・舟生麗花・干田楓・前田花音・政木菜津・丸山貴之・宮川菜奈・宮城百花・宮木理歩・宮崎華帆・宮瀬帆夏・村尾美咲・森一葉・柳橋奏音・矢野愛菜・山下莉歩・吉田歩未・吉富さやか・吉本彩乃・涌井菜摘・和田実佳・渡邊ほの香・大波雄大・齋藤董・砂田果穂・屋敷寿樹・阿部鈴花・荒井祐次郎・小林百奈・阪本美紀・神宮寺幸奈・高松希佳・長谷川玲花・松本亜由美・渡邊日向乃

(ほか4名)

保健医療学部 理学療法学科 | 第26回生… 29名

青木紗江・浅見和也・石川結唯・植松菜月・浦中帆捺・織間里桜・掛橋明莉・加藤木智瑛・金森優太・上村航暉・神戸奏人・毛塚亘亮・五藤沙也花・小林海・佐々木陽世・佐々木凜・佐藤風花・佐藤美奈栄・塩川航成・島岡凜・島崎悠司・清水諒・千田みなみ・貞岡万絢・並木結愛・西野仰・飛田あおい・百瀬綾香・横張伊武希

保健医療学部 作業療法学科 | 第26回生… 16名

岡田彩花・久野千晴・小島広子・齊藤充輝・齊藤姫歌・齋藤夢羽・澤田凜・鈴木颯太・西宮ふかの・長谷川晴菜・服部愛・平岡花織・武捨凪桜・矢澤茉依・鍵水優希・面海空

看護専門学校 | 第60回生… 139名

青田唯那・秋葉紗菜・浅野花和・芦川美佳・阿部温斗・天口優羽・荒井真羽・有馬友愛・五十嵐芽依・石川亜優・石野ひまり・磯野星空・稲川照悟・岩橋すずな・氏家愛奈・生方愛唯・梅津果奈・江頭一華・大関美冬・大谷崇啓・大久歩未・大森真希・小川紗奈・表和咲・小山菜香・影山あみ・梶原琴乃・梶原羽瑠・加藤杏実・加藤梨紗・角野慧・金子沙恵・川上美音・川又満里菜・神田ゆい・神林亜弥・金城莉奈・黒木樺乃・小西沙奈・小早川遥・小林優奈・齋藤朱莉・齋藤彩華・齋藤心琉・坂井愛季・櫻田有咲・笹川桃花・佐々木実花・佐々木祐夏・笹島彩花・佐野理紗子・塩島彩心・柴田芽依・島崎真実子・下田琳太郎・宿里茉彩・庄司結音・菅原愛華・須佐里々菜・須藤瀬理・炭屋このみ・高橋蒼姫・高橋樹里・高山美結・武井望愛・田中愛菜・田中乙野・谷口梨菜・津村優羽・洞庭ひかる・時田莉奈・轟藍海・豊島理央・中川鈴華・中崎望結・中沢涼菜・中林花菜・中村しずく・中谷芽愛・生田目恋侍・縄島里穂・西澤茅里・西田羽那・野口奈瑠美・橋本紗世・蓮田瑠菜・羽立彩花・馬場万莉乃・濱名心希・早川奈波・林真莉奈・原島歩未・原田一葉・福田小雪咲・福留愛桜・福本凜・藤井幸夏・藤田玲乃・藤谷弓乃・布施優希・瀧脇葵・船津梨緒・古川優衣・本田恵利香・本間暖奈・本間由夏・前澤杏美・前田歩夢・増田美樹・松川瑠華・松下舞花・松山亜樹・的場凜華・丸山璃音・三澤未有・宮内優依・宮下杏花里・宮竹祐里花・宮塚あいは・宮林加帆・宮本莉乃・望月葵・森彩羽・森田巴琉・矢口咲貴・山口かおり・山崎あい・山下桃佳・山田初季・山本愛実・湯田愛莉・横山乃々華・横山

原勇太・水谷朋花・水野正太・宮脇朗・村上真郁・村山はづき・望月健太郎・百瀬楓香・森健太郎・梁彰悦・山口貴史・山下りず・山田大貴・横山由卯菜・義田健人

(ほか2名) | 既卒者 2名

薬剤師 | 144名

青木俊樹・赤堀朋香・浅倉美幸・麻生里奈・新井璃子・飯塚拓真・飯塚美結・池田絢香・石川託也・石村和也・井手佑一郎・伊藤駿・伊藤優那・稲留真那・稲葉あかり・稲村武思・今関友香・今村琴音・岩間梨南・印南薫乃・内山湧太・生方詩乃・江田佳穂・榎本絵里子・大野良祐・大橋由佳・荻野晴菜・尾崎翔音・小田暁斗・小貫敬太・小野塚太一・加賀美穂乃・笠神朋花・片岡愛結・加藤琴巴・加藤大地・金子亜佐美・金子明日星・川合悠子・川口真由・川口玲音・川名小百合・川原茉侑・菊地晃平・喜早梨帆・橋田乃綾・久保木菜緒・熊野玲南・倉塚紗・栗田菜々美・黒木麻衣・小泉真人・幸田純奈・古賀莉果子・小嶋花純・坂居京香・佐久間諒・櫻井志帆・佐々木桜・佐藤千佳・佐藤実乃里・佐藤美祐・塩野智哉・清水愛生・清水七菜・清水美帆・菅沼初菜・杉本亜美・關郁実・関佑華・添野佑馬・孫永旭・高岡寛季・高野奏汰・高橋優里佳・竹中勇登・武部麻依・竹村早由・田島華帆・田鍋もも子・丁野純理・苫米地尚果・永井希実・中澤彩音・長島佑季・中田心・中戸川未来・中野愛吹・中道万結・中村壮汰・中山藍・西脇莉来・野口雄平・橋口真由子・長谷川采香・原多花音・原田幸歩・原田侑奈・春田董・東英里佳・東美緒・飛田野安優・姫浦真由・平山昇吾・弘重悠里・笛木滯・船津大輔・星野奈央・細見望衣・堀越優奈・松村裕菜・松本麗矢・三井所明香・宮内彩夏・宮坂安菜・宮崎湧太・宮本詠士・宮本このみ・三好麻白・武藤悠希・森悠歌・森梨々華・森島悠貴・森永桃加・矢部伊吹・山崎惠理・山崎大徳・山崎菜津美・山田佳帆・山田陸・山田璃音・山本志保里・山本光優・吉井友実・吉住夏輝・吉田智哉・依田直之・若松大樹・渡辺佳愛子・渡邊菜美・渡会遥香 (ほか3名) | 既卒者 13名

看護師 | 231名

[保健医療学部看護学科 99名] 赤松杏里紗・東加奈子・天田沙希・雨宮禅・石井愛菜・石川絢・石塚心・石原未友・石本有紗・磯辺菜摘・市川ななみ・伊藤夏希・伊藤穂香・伊藤唯・井上結愛・植村美羽・牛嶋月菜・大内沙織・大賀沙耶・大木美羽・大久保陽色・大嶋美帆・岡田佳音・小幡実璃・加藤緋菜・加藤美鈴・神原由羽・木岡菜津実・桐生大輔・草場帆華・熊丸あかり・栗原未有・黒田結・小出侑奈・小曾根千紘・後藤愛菜・小林琉奈・近藤優月・坂本葉月・佐々木詩愛・笹島あかり・笹原麻衣・流石彩香・佐藤七海・佐藤美沙・沢田華・篠浦るな・篠原陽菜・柴山茉莉亜・菅原結衣・鈴木沙希恵・高橋くる

	第119回歯科医師国家試験				
	試験日 令和8年1月31日(土)・2月1日(日)				
	合格発表 令和8年3月16日(月)				
	全国	私立大学	昭和医科大学		
			全体	新卒	既卒
受験者	2,837名	2,096名	100名	93名	7名
合格者	1,757名	1,231名	90名	88名	2名
合格率	61.9%	58.7%	90.0%	94.6%	28.6%

学修支援のさらなる充実へ全私立大学56校中13位

薬剤師 第111回薬剤師国家試験が2月21日と22日に実施されました。本学では6年生171名中168名が卒業し国家試験を受験しました。結果が発表され、合格基準は前回と同様の213問以上で、受験者全体の合格率は68.49%と概ね例年並みでした。受験者数の減少により合格者数は9000人を下回りました。本学全体の合格率は82.63%で、全私立大学56校中13位、国公立大学を含めた76校中19位でした。全体順位は一定の水準を維持した一方、新卒合格率は85.71%となりました。

今回の結果を踏まえ、高学年における国家試験に向けた学修の早期化に加え、成績下位者に対する対面での学修支援の強化など、国家試験合格率の向上を目指し、教員一同、よりきめ細やかな指導の充実に取り組んでまいります。

薬学部教育委員長 杉山 恵理花

	第111回薬剤師国家試験					
	試験日 令和8年2月21日(土)・2月22日(日)					
	合格発表 令和8年3月25日(水)					
	全国	私立大学	昭和医科大学			
			全体	新卒	既卒	旧4年制
受験者	12,774名	11,762名	190名	168名	21名	1名
合格者	8,749名	7,931名	157名	144名	13名	0名
合格率	68.49%	67.43%	82.63%	85.71%	61.9%	0%

低学年からの継続的な学修支援を強化し、学びの質の向上へ

低学年からの継続的な学修支援を強化し、学びの質の向上へ

看護師 必修問題は単純な知識を問う問題が減少し、状況の読み取りや一般問題レベルの知識が混在する傾向がみられました。一般問題と状況設定問題では、「5肢2択」問題が増え、確実な知識が問われ難易度が高くなっています。また、全体的に「人体の構造と機能」に関する正答率が低い傾向でした。問題文にある情報から必要な情報を的確に読み取り、根拠に基づいた判断力が問う問題が増えています。過去の国家試験問題を現代社会に合わせた改変された問題も多く、出題基準に基づいた基本的な知識の徹底が必要であると考えられます。低学

み・高間美緒・滝元優子・田中あゆ菜・田中もも・谷川凜・谷山愛香・田原美咲季・民谷葵・出口真裕子・通山美涼・中城理宝・中出桃香・中村圭佑・中村美咲・西村香花・二艘木結音・野木真優子・葩島愛・橋本知可子・日置優海・平嶋さら・藤本瑚雪・舟久保七海・舟生麗花・干田楓・政木菜津・丸山貴之・宮川菜奈・宮城百花・宮木理歩・宮崎華帆・宮瀬帆夏・村尾美咲・森一葉・柳橋奏音・矢野愛菜・山下莉歩・吉田歩未・吉富さやか・涌井菜摘・和田実佳・渡邊ほの香・齋藤董・屋敷寿樹

(ほか3名)

[附属看護専門学校 132名] 青田唯那・秋葉紗菜・浅野花和・芦川美佳・阿部温斗・天口優羽・荒井真羽・有馬友愛・五十嵐芽依・石川亜優・石野ひまり・磯野星空・稲川照悟・岩橋すずな・氏家愛奈・生方愛唯・梅津果奈・江頭一華・大関美冬・大谷崇啓・大久歩未・大森真希・小川紗奈・小山東菜香・影山あみ・梶原琴乃・梶原羽瑠・加藤杏実・加藤梨紗・角野慧・金子沙恵・川上美音・川又満里菜・金城莉奈・黒木権乃・小西沙奈・小早川遥・小林優奈・齋藤朱莉・齋藤彩華・齋藤心琉・坂井愛季・笹川桃花・佐々木実花・佐々木祐夏・笹島彩花・佐野理紗子・塩島彩心・柴田芽依・島崎真実子・下田琳太郎・宿里茉彩・庄司結音・菅原愛華・須佐里々菜・須藤瀬理・炭屋このみ・高橋蒼姫・高橋樹里・高山美結・武井望愛・田中愛菜・田中乙野・谷口梨菜・津村優羽・洞庭ひかる・轟藍海・豊島理央・中川鈴華・中崎望結・中沢涼菜・中林花菜・中村しずく・中谷芽愛・生田目恋侍・縄島里穂・西澤茅里・西田羽那・野口奈瑠美・橋本紗世・蓮田瑠菜・羽立彩花・馬場万莉乃・早川奈波・林真莉奈・原島歩未・福田小雪咲・福留愛桜・福本凜・藤井幸夏・藤田玲乃・藤谷乃弓・布施優希・淵脇葵・船津梨緒・古川優衣・本田恵利香・本間暖奈・本間由夏・前澤杏美・増田美樹・松川瑠華・松下舞花・松山亜樹・的場凜華・丸山璃音・三澤未有・宮内優依・宮下杏花里・宮竹祐里花・宮塚あいは・宮林加帆・宮本莉乃・森彩羽・森田巴琉・矢口咲貴・山口かおり・山崎あい・山下桃佳・山田初季・山本愛実・湯田愛莉・横山乃々華・横山楓・李花蓮

(ほか4名) | 既卒者 3名

理学療法士 | 29名

青木紗江・浅見和也・石川結唯・植松菜月・浦中帆捺・織間里桜・掛橋明莉・加藤智瑛・金森優太・上村航暉・神戸奏人・毛塚亘亮・五藤沙也花・小林海・佐々木陽世・佐々木凜・佐藤風花・佐藤美奈栄・塩川航成・島岡凜・島崎悠司・清水諒・千田みなみ・貞岡万絢・並木結愛・西野仰・飛田あおい・百瀬綾香・横張伊武希 | 既卒者 1名

作業療法士 | 15名

岡田彩花・久野千晴・小島広子・齊藤充輝・齊藤姫歌・

年で既習した知識を再確認し、確実な知識の定着となるような対策に取り組んでまいります。

	第115回看護師国家試験				
	試験日 令和8年2月15日(日)				
	合格発表 令和8年3月24日(火)				
	全国	昭和医科大学			看護専門学校
		全体	新卒	既卒	全体
受験者	59,614名	106名	106名	0名	142名
合格者	52,666名	99名	99名	0名	132名
合格率	88.3%	93.4%	93.4%	－%	93.0%

理学療法士 基礎問題や基礎医学に関する問題は、過去問の類似傾向があることから早期からの知識の定着を目指した取り組みが必要であると考えられます。専門分野に関する問題は、新領域の出題に加え、複数の情報を整理し、統合する読解力や臨床推論力が求められていました。

本専攻では、基礎分野の知識を活用した応用力や臨床実習に伴う国家試験に関する学修開始の遅れが課題であるため、学生の個別分析をふまえた苦手分野の早期の特定と学修計画についての指導が必要であると考えられます。また、臨床実習での学びが国家試験対策につながるよう指導体制を整えてまいります。

	第61回理学療法士国家試験			
	試験日 令和8年2月23日(月)			
	合格発表 令和8年3月23日(月)			
	全国	昭和医科大学		
		全体	新卒	既卒
受験者	12,436名	30名	29名	1名
合格者	11,156名	30名	29名	1名
合格率	89.7%	100%	100%	100%

作業療法士 過去問を暗記する問題ではなく、複数の知識を組み合わせる思考力が問われる問題が増えている傾向でした。より専門的な知識が増えたことによる設問の解釈が分かれる結果となり、採点除外等の取り扱いがなされた問題は8問でした。正答の根拠が確実なものとなるような学修が必要不欠であると考えられます。また、患者の背景や生活をふまえた支援や介護保険制度の改定や地域包括ケアをふまえた視点が問われています。さらに発達障害や神経症等のメンタルヘルスに関する理解についても出題されるようになりました。問題の意図（なぜ、問われるのか）、問題の根拠となる知識の定着につながる学修となるような対策に取り組んでまいります。

保健医療学部教育委員長 大屋 晴子

	第61回作業療法士国家試験			
	試験日 令和8年2月23日(月)			
	合格発表 令和8年3月23日(月)			
	全国	昭和医科大学		
		全体	新卒	既卒
受験者	5,426名	17名	16名	1名
合格者	4,947名	15名	15名	0名
合格率	91.2%	88.2%	93.8%	0%

齋藤夢羽・澤田凜・鈴木颯太・西宮ふかの・長谷川晴菜・服部愛・平岡花織・武捨凪桜・矢澤茉依・鍵水優希

保健師 | 16名

石井愛菜・市川ななみ・井上結愛・後藤愛菜・佐藤七海・佐藤美沙・篠原陽菜・鈴木沙希恵・高間美緒・中村圭佑・西村香花・二艘木結音・平嶋さら・宮木理歩・神宮寺幸奈（ほか1名）

保健師 受験生全体の合格率は87.1%（新卒89.9%）でした。今回の試験では、令和5年版出題基準の定着に伴い、基礎知識に加え、より実践的・多角的な判断を問う傾向が強まりました。また最新の人口動態統計や法改正が即座に反映された問題が出題されました。次回試験での全員合格に向け、実践的思考力の定着と、最新情報の迅速な提供を軸とした学習を強化するとともに、学生一人ひとりに即した個別サポートを充実させ、万全の支援を提供したいと思います。

	第112回保健師国家試験			
	試験日	令和8年2月13日(金)		
	合格発表	令和8年3月24日(火)		
		昭和医科大学		
	全国	全体	新卒	既卒
受験者	7,467名	20名	20名	0名
合格者	6,502名	16名	16名	0名
合格率	87.1%	80.0%	80.0%	―%

助産師 | 13名

大橋葵・大堀綾・岡侑花・金谷園香・岸本恵里・木村愛海・熊谷風優・古泉里奈・阪田優菜・菅野菜々美・中村美波・畑山実里・平賀詩乃

助産師 全体的に出題の意図が明確で基本的知識を問う問題が多い傾向がみられました。出題内容では、昨今の助産を取り巻く社会背景を反映し、ハイリスク妊産婦・新生児および低出生体重児の助産判断と支援能力を問う出題が特徴的でした。「正常経過の助産診断と支援」に関する出題よりも「新生児期および妊娠期」に関する問題が上回っていました。また、乳幼児の正常発達や小児感染症・ワクチンに関する出題数が増加し、切れ目のない一貫した母子健康支援の実践能力が求められています。入学時より周産期における基礎的知識を早期より定着できるように主体的学習の習慣を促す支援体制を整えてまいります。

	第109回助産師国家試験			
	試験日	令和8年2月12日(木)		
	合格発表	令和8年3月24日(火)		
		昭和医科大学		
	全国	全体	新卒	既卒
受験者	2,046名	13名	13名	0名
合格者	2,040名	13名	13名	0名
合格率	99.7%	100%	100%	―%

齋藤夢羽・澤田凜・鈴木颯太・西宮ふかの・長谷川晴菜・服部愛・平岡花織・武捨凪桜・矢澤茉依・鍵水優希

令和8年度 新入生

新入生一覧 4学部・専門学校

医学部 医学科 | 130名

青柿俊生（栄東）・青柳壮真（長岡）・浅井健悟（早稲田大学系属早稲田実業学校高等部）・我妻明音（竹園）・池田真優（東邦大学付属東邦）・石崎舞（横浜雙葉）・市村美優（厚木）・伊藤匠（弘前）・稲見颯大（秋田）・井上杏（日本女子大学附属）・井上元貴（成蹊）・岩崎賢太（東京学芸大学附属）・岩田和樹（桐朋）・上田理紗（白百合学園）・植松佳音（広尾学園）・梅津拓実（東邦大学付属東邦）・賣野美咲（東邦大学付属東邦）・王月依（横浜雙葉）・大石修子（茗溪学園）・大角優真（浅野）・大森琴梨（森村学園高等部）・大山慶志郎（新宿山吹）・織田雄州（川崎(市立)）・小野里温優（渋谷教育学園幕張）・小畑花音（昭和女子大学附属昭和）・亀井陽斗（前橋(県立)）・河原崎雄真（本郷）・氣賀壮一朗（桐蔭学園）・菊池美宇（吉祥女子）・北岡潤也（麻布）・木村虹香（日本航空）・國信一輝（桐蔭学園）・久保田晟央（慶應義塾）・小泉友里恵（雙葉）・小坂橋望和（立教新座）・小崎泰盛（立教新座）・古座野帆波（豊島岡女子学園）・小林総一郎（本郷）・小林央

（東邦大学付属東邦）・小林美貴（横浜雙葉）・齋藤恵怜奈（開智日本橋学園）・齊藤皇樂（暁星）・坂部花乃（豊島岡女子学園）・佐々木輝アンソニー（巣鴨）・佐藤聡彦（成蹊）・佐藤絢音（白百合学園）・佐藤愛夏（三田国際科学学園）・佐藤美智子（日本大学東北）・重枝萌花（柏陽）・重吉晃希（柏陽）・篠崎彩奈（愛知淑徳）・嶋村茉祐（湘南白百合学園）・下間向陽（芝）・庄司望愛（海陽）・菅原勇心（土浦第一）・鈴木麻央（湘南）・鈴木優志（桜台）・関戸耀太（武蔵(私立)）・早田光志（駒場東邦）・高城江玲奈（日比谷）・高歙舞（開智）・高瀬諒晴（駒場東邦）・高寺晁太郎（駒場東邦）・高梨果乃（東洋英和女学院高等部）・高橋宏英（成城）・高松英舜（啓明学園）・竹井陽菜（江戸川学園取手）・竹内陽祐（芝）・竹中雄大（駒場東邦）・武政佳奈（湘南）・田島大翔（山手学院）・田島嘉人（獨協）・田尻駿（東海大学付属高輪台）・田上太龍（清風）・塚田征太郎（成城）・都築大翔（刈谷）・友部靖文（江戸川学園取手）・外山稚菜（豊島岡女子学園）・中川皓貴（富山中部）・中澤詩桜乃（吉田）・長澤美佳（東洋英和女学院高等部）・中田花歌（和洋国府台女子）・中溝真一（麻布）・長嶺海斗（S）・中村颯真（日本航空）・中村美智子（愛知淑徳）・西村一慶（開智）・野原登史男（暁星）・橋田宰（桐蔭学園）・橋本佳奈（白百合学園）・濱野智陽（世田谷学園）・林健太（暁星）・原桜輔（立教新座）・樋口理奈

（フェリス女学院）・菱木悠介（鎌倉学園）・日永武伯（東海）・福中脩凱（駒場東邦）・坊内聡太（暁星）・本清一樹（栄東）・本多悠都（駒場東邦）・本間愛里（横浜共立学園）・真玉遥人（昭和学院秀英）・松浦史明（駒場東邦）・松浦未来（白百合学園）・松村孔明（两国）・松本海斗（城北(私立)）・松本琉惺（多摩大学目黒）・丸山恵（新潟）・三嶋毅（城北(私立)）・三代健人（川和）・峯岸千紘（桜蔭）・村上慧（サレジオ学院）・村上夢（豊島岡女子学園）・持永明巳加（三田国際科学学園）・茂木良磨（東京都市大学付属）・森下優妃（吉祥女子）・森田未来乃（東洋英和女学院高等部）・安永実央（頌栄女子学院）・山崎洵惺（東京都市大学付属）・山田潤（西）・山本奈央人（佐久長聖）・横井佑次郎（芝）・横山吉平（城北(私立)）・吉田元（東京科学大学附属科学技術）・吉田知樹（宇都宮）・吉田侑加（女子学院）・劉治文（世田谷学園）（ほか3名）

歯学部 歯学科 | 103名

有澤混平（巣鴨）・飯尾むつは（日本女子大学附属）・伊藤美葵（カリタス女子）・井下琴（大手前九亀）・伊良波祐真（興南）・岩本智宏（海星）・植田崇道（江戸川学園取手）・上野祐那（宇都宮女子）・内海多佳音（東海大学付属高輪台）・浦口愛彩（玉川学園高等部）・大島あかり（金沢二水）・大島崇宏（開智未来）・大角香琳（田園調布雙葉）・大場美星（日本大学第二）・大山紗和（ぐんま国際アカデミー高等部）・大類万季（東洋英和女学院高等部）・岡田理紗子（富山中部）・岡本拓也（広尾学園小石川）・沖元百葉（藤女子）・尾本奈穂（淑徳与野）・片岡太（攻玉社）・片山皓介（東京都市大学等々力）・加藤遼佳（日本大学第二）・河上直輝（海城）・喜多亮仁（東京学芸大学附属）・喜多見一輝（日本大学東北）・金鉢禹（中部大学春日丘）・久保順誠（暁星）・久保凜桜（智辯学園和歌山）・熊谷梨名（札幌西）・熊川亜優（学習院女子高等科）・栗原捷太（相模原(県立)）・車香穂（横浜女学院）・高栢華蓮（光塩女子学院高等科）・小松友萌香（日本女子大学附属）・齊藤那奈（桐光学園）・澤田花音（品川女子学院高等部）・篠田祐里（三輪田学園）・嶋崎安里（南多摩）・嶋崎達也（水戸第一）・島田瑞稀（森村学園高等部）・清水琴子（中央）・清水亮介（桐朋）・菅原志穂（開智）・鈴木彩花（刈谷）・関伊吹（同志社女子）・関龍之介（成城学園）・反田雄一郎（駿台甲府）・高倉悠生（獨協）・高沢結奈（森村学園高等部）・高田朔良（真和）・高峰豊歩（桐蔭学園）・竹下紘也（静岡聖光学院）・竹林心盛（田園調布）・立石光（浦和(県立)）・田中凰都（帝京大学）・對馬瑞稀（朋優学院）・坪井朝美（富山）・仲宗根佳子（田園調布学園高等部）・中谷桜子（國學院大學久我山）・中村和奏（森村学園高等部）・中山知優（広尾学園）・鳴海紗弥（開智）・新妻南奈実（品川女子学院高等部）・西川結（江戸川学園取手）・西山瑚華（横須賀学院）・箱田悠磨（栄東）・林友梨乃（白百合学園）・林琉也（山手学院）・樋口清亮（秀明）・平野若菜（白百合学園）・深澤実侑（滝川第二）・福田圭汰（常総学院）・福田薊（國學院大学栃木）・細井歩（函館中部）・保谷愛茄（慶應義塾湘南藤沢高等部）・堀僚介（柏陽）・前田月菜（水沢）・前田鈴（暁星）・増渕清香（恵泉女学園）・松本愛莉（桐蔭学園）・松本准（桜美林）・松本萌夏（田園調布学園高等部）・松本隆成（秀明）・皆川凜（穎明館）・宮田柚（岡山白陵）・向乃奈（北陸学院）・本木はな（済々黌）・森田彩月（玉川聖学院高等部）・門司果子（福岡雙葉）・山下なお（沖繩尚学）・山田佳帆（新潟）・横山祐恵（森

村学園高等部）・米田そら（宮崎西）・依岡麻実（湘南白百合学園）・萬屋太陽（青山学院大学系属浦和ルーテル学院）（ほか4名）

編入学 | 3名
LEE YOUNG JIN（外国の学校等）・小出さくら（東京医科歯科大学）・順毛優希（群馬大学大学院）

薬学部 薬学科 | 206名

青砥杏弥（日本工業大学駒場）・秋葉葵（西武台）・秋葉瑛太（熊谷）・秋葉千歌（捜真女学校高等学部）・安孫子汐梨（香蘭女学校高等科）・阿部聖樹（湘南学園）・綾部一花（跡見学園）・有浦柊汰（巨摩）・五十嵐亜由子（文教大学付属）・池田悠真（安積）・池上千咲（多摩大学附属聖ヶ丘）・石角燈（恵泉女学園）・磯貝晟志（東京電機大学）・伊藤姫子（南平）・稲垣諒真（横浜翠陵）・稲室もえ（雪谷）・井上遥人（京華）・今村咲（お茶の水女子大学附属）・岩沢優花（熊谷西）・蛭子陽香（函館中部）・王絵理華（佼成学園女子）・大竹媛愛（川和）・大谷晴香（普連土学園）・岡本結愛（静岡雙葉）・翁以智（日本大学豊山）・荻原咲月（相模女子大学高等部）・尾崎純（多摩）・落合杏名（小平）・小野木美羽佳（青稜）・景山知咲（立正大学付属立正）・加瀬潮果（朋優学院）・片桐羽仁杏（相模女子大学高等部）・門脇駿（高崎）・金内瑠珂（高卒認定試験・大検・高卒認定審査）・金子真悠里（越谷北）・神谷結花（サレジオ国際学園世田谷）・加村夢羽（松陽）・河合律香（東京女学館）・川崎悟志（埼玉栄）・川島明華（北星学園女子）・河野仁（横須賀大津）・川端ゆき（生田）・川邊恵（市ヶ尾）・神戸柚子（上尾）・菊地萌華（茨城）・岸美咲希（春日部共栄）・木原渚（横浜雙葉）・木村哩久（成田）・京塚理子（国際）・們田紘介（荏田）・國近晴太（海老名）・黒沼采那（追浜）・古泉颯太（新潟第一）・小暮彩奈（上野）・小櫻和実（広島なぎさ）・小寺咲歩（新城）・後藤芽里（山形西）・小林愛実（函館中部）・小山隼汰（市ヶ尾）・財津圭太（安田学園）・齋藤花音（木更津）・齊藤楓也（三条）・坂巻こはる（川崎総合科学）・佐々木心音（静岡北）・佐藤愛紗（一関第一）・佐藤由菜（富士河口湖）・佐野祇来吏（大崎）・芝田歩（西舞鶴）・柴田遥菜（十文字）・島谷遙斗（文教大学付属）・島村美心乃（開智）・清水佐智（山脇学園）・障子紅杏（沼津市立沼津）・白井佑奈（川崎総合科学）・白川桜子（品川女子学院高等部）・代田美帆（秀明）・菅原琉斗（常総学院）・杉崎紗和（鎌倉女学院）・杉原那奈（熊本マリスト学園）・杉山優菜（品川女子学院高等部）・鈴木杏梨（森村学園高等部）・鈴木拓海（関東学院）・鈴木塔子（普連土学園）・鈴木柚遥（森村学園高等部）・鈴木椋大（高輪）・清家峻汰（検見川）・関優花（山脇学園）・関凜佳（霧が丘）・関野叶多（桜美林）・外山結惟（國學院）・高瀬理央（船橋(県立)）・高橋杏奈（湘南工科大学附属）・高橋奏実（昭和女子大学附属昭和）・滝川美樹（捜真女学校高等学部）・滝澤菜優（昭和女子大学附属昭和）・竹伶子（湘南白百合学園）・竹内葵（与野）・田島陽向（柏中央）・田中杏（九段）・田中桃花（国際）・田中結穂（横浜富士見丘学園）・玉村星海（桐光学園）・千葉愛美（秀明）・中馬愛梨（北広島）・塚原優芽花（江戸川学園取手）・對馬綾音（日本工業大学駒場）・堤さくら（竹園）・鶴巻颯太郎（平塚江南）・寺谷向生（明治学院）・土岐舞華（晃華学園）・殿塚彩加（安田学園）・豊嶋遼人（川崎(県立)）・豊島由香莉（成城学園）・豊田紫杏（金沢）・豊田梨沙（駒込）・内藤暖人（町田）・直木結翔（湘南学園）・中井初香（韮山）・長島光伯（志学館高等部）・永田愛琉（錦城）・中村綺花（鶴見大学附属）・中村祥太郎（茗

溪学園)・那須千夏 (文教大学付属)・南襄 (甲陵)・新山寛奈 (東洋英和女学院高等部)・西澤紗来 (江戸川女子)・野村佳花 (大妻)・芳賀汐菜 (青稜)・白知豫 (国府台女子学院高等部)・長谷川ほの花 (明治学院東村山)・長谷川美月 (鶴見大学附属)・畑中優有 (日本大学)・治田ほのか (南)・平井凜 (七里ガ浜)・平野宙 (麻布)・平野凌梧 (田園調布)・廣木詩 (延岡学園)・廣瀬真音 (多摩大学附属聖ヶ丘)・深尾実佑 (星野)・深川紗帆 (東京女学館)・藤丸夢果 (墨田川)・藤村梨杏 (コザ)・古河奈々 (聖心女子学院高等科)・北郷とこは (上尾)・本田つぐみ (目黒(都立))・前田優菜 (淑徳)・眞砂結 (田園調布雙葉)・松岡実紅 (昭和第一学園)・松田楓花 (津和野)・松永美紗 (横浜共立学園)・松村愛 (明星)・丸山樹乃 (昭和女子大学附属昭和)・丸山勢我 (日本工業大学駒場)・丸山藍 (茨城)・丸山莉奈 (長野吉田)・三角知穂 (駒沢学園女子)・皆川雅菜 (麻布大学附属)・宮下夏寧 (富士見丘)・宮下蓮人 (水海道第一)・宮本景 (品川翔英)・村瀬野乃花 (川和)・村山実徠 (山手学院)・望月綺七 (日本大学)・本村翔 (保善)・森美怜 (立命館慶祥)・森脇久珠 (遺愛女子)・安田渉乃 (カリタス女子)・安野楓花 (浦和第一女子)・藪田優菜 (津久井浜)・八巻葵 (越谷北)・山口あい (日本大学藤沢)・山崎美結 (常総学院)・山本惺奈 (日本大学習志野)・山本寛大 (越谷西)・山本真里杏 (東京女学館)・横澤歩佳 (百合学園)・吉鋪奈菜 (目黒(都立))・吉田葵 (大船)・吉田恵 (目黒学院)・芳村むつき (山脇学園)・吉原杏 (東海大学付属浦安)・若林香輝 (高卒認定試験・大検・高卒認定審査)・渡邊寧音 (東京)・渡部美友 (成田)・渡邊裕月 (鶴沼)・渡辺由莉 (惠泉女学園)・渡邊莉央 (共立女子)・蕨野裕大 (湘南学院) (ほか18名)

保健医療学部 看護学科 | 101名

有地乃々佳 (戸塚)・池田陽南 (神奈川総合)・石川美陽 (市ヶ尾)・石黒日和 (宮城学院)・石黒楓果 (大船)・石田愛実 (神代)・石塚琴子 (藤代)・井出薫子 (東京家政大学附属女子)・伊藤智弥子 (大妻多摩)・井上結理 (実践女子学園)・今西佑衣乃 (伊奈学園総合)・岩佐実樹 (横浜女学院)・岩本萌果 (日本大学第三)・漆原紗希奈 (桜美林)・江口瑛真 (戸塚)・遠藤波南 (工学院大学附属)・大久保真衣 (西湖)・大竹美久 (桐蔭学園)・大坪菜乃愛 (昭和女子大学附属昭和)・大野結心 (市ヶ尾)・岡村英凜 (横浜共立学園)・岡元葵 (府中)・奥明香理 (桐蔭学園)・奥村柚美子 (七里ガ浜)・香川未菜美 (森村学園高等部)・加藤美優 (玉川学園高等部)・加藤結 (駿台甲府)・川口春樹 (大船)・川島妃奈乃 (荏田)・河田柚葉 (元石川)・神田暖乃果 (横浜創英)・木内ゆりか (富士見丘)・北野そら (横浜立野)・草野琴代 (七里ガ浜)・草深優 (目黒日本大学)・栗城雪桜 (横浜隼人)・小池あい (多摩大学目黒)・興石あおば (田園調布学園高等部)・小沼美瑚 (市ヶ尾)・小林美紅 (駒沢学園女子)・小林三菜美 (共立女子第二)・才賀優 (銚子(市立))・坂本千和 (調布南)・佐久間咲花 (豊多摩)・佐々木友里 (立命館慶祥)・佐藤綺羅 (須坂)・塩月心華 (麻布大学附属)・島田響 (北鎌倉女子学園)・下青木采音 (日本大学藤沢)・未松愛里 (荏田)・鈴木心樹 (実践学園)・砂川陽香 (山脇学園)・高木彩乃 (清瀬)・田中颯乃 (松陽)・田之上りこ (惠泉女学園)・柘植みやび (日本大学第二)・辻菜央 (大妻多摩)・津田千尋 (日本大学第二)・土屋唯奈 (日本大学第三)・續木未徠 (清心女子)・中北はな (皇學館)・中島果穂 (長野西)・長島梨香 (富士見)・新倉璃音 (多摩大学目黒)・

西澤美緒 (文華女子)・根本隆太郎 (大船)・野尻結衣 (藤村女子)・萩野谷彩那 (津久井)・萩原未来 (川崎(市立))・橋本葵 (日本大学藤沢)・羽田璃央 (元石川)・畠山夏妃 (伊那弥生ヶ丘)・早坂来魅 (山形北)・比嘉結花 (広島三育学院)・飛田結衣 (文京)・福井瑞生 (正智深谷)・福永千結 (神奈川学園)・藤枝真彩 (桐蔭学園)・藤田優希 (浜松湖南)・町田悠日 (品川女子学院高等部)・松坂幸音 (聖ウルスラ学院英智)・三角萌 (桜美林)・三橋紗菜 (湘南白百合学園)・村上めい (大妻多摩)・召田育利 (松本県ヶ丘)・茂木勇希 (岸根)・森美冬 (調布北)・森嶋快晴 (日本工業大学駒場)・矢作琴都 (晴海総合)・山田凜 (城西大学附属城西)・山名優 (昭和女子大学附属昭和)・山本菜々子 (能登)・湯田七海 (二俣川)・吉川遥陽 (藤沢西)・渡邊美来 (緑ヶ丘女子) (ほか3名)

編入学 | 3名
竹之内乙海 (船橋市立看護専門学校)・原島歩未 (昭和医科大学附属看護専門学校)・横山乃々華 (昭和医科大学附属看護専門学校)

保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 42名
安部徹仁 (獨協埼玉)・石井虎之介 (東)・石川素羅 (東海大学菅生)・伊藤泰我 (横浜立野)・大河原梨菜 (横浜創英)・大仲惟 (沼津東)・大西美彩 (水海道第一)・貝本宗太郎 (百合丘)・笠原千佳 (南)・片岡良王 (報徳学園)・鎌滝あみ (日本大学)・木村颯太 (荏田)・清沢陽 (藤沢西)・久保枝織 (桐蔭学園)・黒田聖七 (岡谷南)・高麗ひまり (三島北)・近藤瑠南 (秦野)・塩田一輝 (桜美林)・塩谷來未 (東大和南)・清水成実 (港北)・菅楓奈 (駒澤大学)・杉浦樹 (駒沢学園女子)・鈴木翠央 (伊那弥生ヶ丘)・田中美愛 (荏田)・津野玲奈 (横浜栄)・富岡花蓮 (実践女子学園)・信岡結菜 (森村学園高等部)・春木礼華 (戸塚)・福田陽太 (横須賀学院)・布施東子 (相模女子大学高等部)・松沼真由 (甲府西)・水口心路 (熊谷女子)・水谷詢菜 (元石川)・峯村莓花 (錦城)・宮川彩 (神奈川学園)・本杉結衣 (常葉大学附属常葉)・森尻航生 (横浜創英)・諸星慧奈 (神田女学園)・山田葵 (元石川)・吉住優那 (日本大学第二)・吉田恵 (成瀬) (ほか1名)

保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 27名

石川乎太郎 (市ヶ尾)・伊藤綾子 (横浜雙葉)・岩井美織 (十日町)・大原絆士朗 (伊那弥生ヶ丘)・岡田太陽 (荏田)・岡部陽人 (酒田西)・國嶋蓮香 (神奈川学園)・栗原茜 (駒澤大学)・齋藤隆晴 (商工)・佐藤幸輝 (太田(県立))・篠原菜子 (白梅学園)・神保琉生 (麻溝台)・副田晟那 (百合丘)・高橋姫圭 (錦城)・田代栞 (成瀬)・棚澤璃奈 (熊谷女子)・出合美周 (芦花)・中島愛奈 (須坂)・中西悠惺 (東海大学付属高輪台)・藤澤楓花 (大崎)・藤森彩羽 (諏訪二葉)・宮里百花 (上野)・村澤武 (飯田風越)・米良まひろ (雪谷)・山田蒼唯 (森村学園高等部)・横溝心咲希 (みなと総合)・渡辺心実 (新潟明訓)

看護専門学校 | 163名

青池一真 (横浜立野)・青野龍之介 (米沢東)・秋山倅愛 (小平西)・姉帯莉子 (鹿島)・阿部由奈 (川崎(市立))・アマラシンガラシミアピシェイカ (芝商業)・新井心彩 (大山)・飯田茅夏 (根室)・池澄泰介

(金沢)・石川結愛 (真岡女子)・泉山陽希 (福岡)・市井夢月 (日南振徳)・一宮愛瑠 (目黒(都立))・市村佳菜 (飯田女子)・伊東桃花 (常盤木学園)・井上結花 (松が谷)・井上理沙 (美原)・今津愛梨 (荏田)・植木美羽 (高津)・牛山詩月 (岡谷南)・内山桃乃 (実践女子学園)・江田舞紗 (日本橋)・蝦名咲柚 (三本木)・及川麗良 (千葉敬愛)・翁夏桐 (大崎)・大倉乙夏 (第一学院(高萩校))・大野音和 (東京実業)・岡田あかり (出雲北陵)・岡田鈴礼 (龍桜)・小川知英 (沖繩尚学)・落部奈々 (静岡サレジオ)・鬼山龍聖 (東京実業)・折瀧愛 (大崎)・加藤遥 (岐阜東)・加藤裕佳 (成瀬)・金子璃音 (上鶴間)・金田梓沙 (桜町)・亀井夏葵 (飯田女子)・川井琴巴 (女子聖学院)・川崎妃夏 (駒場学園)・北山由捺 (本所)・久保未彩 (ID学園)・黒島菜々夏 (桜丘)・小泉瑛 (四街道)・越川椿 (向丘)・児玉佑介 (日本航空)・古地桃寧 (荏田)・小林乃彩 (山形市立商業)・小林美羽 (淑徳SC高等部)・小山恵 (泉)・阪爪美優 (田園調布)・坂本拓馬 (桐生第一)・佐々彩那 (富谷)・笹本由和 (上清南)・佐藤乃愛 (常盤木学園)・佐和田優愛 (陽明)・篠原未咲 (佐渡)・柴田羽音 (東洋女子)・柴田真央 (飛龍)・嶋吉明日香 (二松学舎大学附属)・首藤さくら (古河第二)・常念玲衣 (高津)・菅沼加世 (阿智)・菅原希 (PL学園)・杉浦碧依 (中央国際)・杉本未莉亜 (百合丘)・鈴木葵 (仙台育英学園)・関根美結 (横浜創学園)・関根理央 (東京農業大学第二)・臺野未来 (横浜)・平莉緒 (仙台西)・高田弥郁 (芦花)・高田芽衣 (佐野日本大学)・高野琴音 (武蔵丘)・高橋夏帆 (戸塚)・高橋璃々 (静岡市立清水桜が丘)・竹内優月 (江戸川女子)・田代未来 (川崎(市立))・田中月彩 (山形県立致道館)・田邊宗 (安田学園)・田原璃子 (大宮中央)・檀上葵 (福山明王台)・千葉桜佐 (佐沼)・土屋陽花 (杉並学院)・土屋優花 (東金商業)・筒井亜実 (武蔵野女子学院)・鶴田頼空 (鹿児島実業)・手塚愛琉 (横浜桜陽)・土井陽菜子 (クラーク記念国際)・道川莉帆 (弘前実業)・徳重美羽 (自由ヶ丘学園)・徳田羽花 (八頭)・富岡夏悠 (橘)・永長果樹 (麻生)・長坂桃音 (甲府南)・中嶋春妃 (塩釜)・中山綾華 (稔ヶ丘)・奈良桃佐 (昭和学院)・成田萌久華 (弘前)・縄田桃愛 (香住丘)・西橋夢 (屋久島)・西山千加保 (聖徳大学附属取手聖徳女子)・野口姬夏 (岸根)・野呂瑞葵 (狭山清陵)・橋本幸奈 (西武台千葉)・橋谷瑠琉 (蒲田)・長谷川花凜 (東日本国際大学附属昌平)・長谷川愛海 (赤羽北桜)・平山優樺 (第一商業)・福士弘子 (日本女子大学附属)・福西由芽 (相模女子大学高等部)・藤野優羽 (高津)・淵上まこと (啓明学園)・星野鈴歌 (相模原(私立))・前砂美紗樹 (正則)・松尾侑希乃 (港北)・松山侑ノ介 (飛鳥)・丸井莉里花 (荏田)・三浦楓夏 (山形県立致道館)・三島里菜 (相模向陽館)・水田陽奈 (柏南)・三本菜々子 (大成)・宮本芽夢 (第一商業)・宮本もえ (松戸向陽)・向中野未妃 (三沢)・村元小翔香 (青森北)・望月陽奈 (岡谷南)・望月風花 (吉原)・元吉茉莉愛 (叡明)・森成桃 (高島)・森瑞枝 (星美学園)・安武希莉 (城郷)・山口心菜 (日本橋)・山口彩綾 (水海道第二)・山口美怜 (横浜翠陵)・山崎舞羽 (浦和麗明)・山崎雄史 (桜町)・山田愛莉 (静岡市立清水桜が丘)・吉田羽舞 (青森山田)・米田敦子 (大樹)・和久井七海 (直江津)・和島明穂 (柴田女子)・渡邊夏帆 (都留)・渡邊侑芽 (クラーク記念国際)・綿引彩友 (つくば国際大学)・若山愛理 (四天王寺) (ほか17名)

※新入生一覧は氏名・出身校ともに同意した学生のみを掲載しております。

新入生一覧 大学院・専攻科

昭和医科大学大学院 | 令和8年度春季新入生

医学研究科 | 42名

石川貴将・市原咲歌・犬谷曜人・上原孝太・牛久保芽生・遠藤祐紀・落合雅也・笠木紳矢・上條香織・北谷香菜子・金泰旻・後藤慈音・小森秀一・齋藤凌・櫻井要・田中涼・津村光紀・中尾蓮次郎・中田駿作・中西巧・新津谷孝・橋本侑奈・林あや乃・福井正也・福田凜・藤井貴大・藤田鉄平・藤原朝香・古屋健太郎・間瀬泰我・松田光司・松本泰輔・見崎友香・美島秀俊・緑川清史・妻鳥文香・森村茜・矢島瑞己・山崎実・山内美樹 (ほか2名)

歯学研究科 | 30名

荒木一成・伊藤優馬・今中大晴・岩崎愛莉・小原奈子・韓勝陽・呉悠・合田華子・斉天霖・蔡有為・白井健太郎・末沢聡美・鈴木聖章・竹内海希・附田健作・手島望・峠日奈子・富田雄音・中崎由奈・中野裕太・早川優菜・平野可菜・藤本奈央子・松浪巨昂・水原準・米山真由子・渡邊力 (ほか3名)

薬学研究科 | 18名

池田詢香・井手佑一郎・伊藤正輝・稲村武思・大橋啓子・荻野晴菜・加藤大地・佐藤莉央・清水美帆・菅沼初菜・瀧ヶ平拓哉・長島佑季・中村理江・三浦愛理・山本遥平・和久田透琉・渡辺佳愛子 (ほか1名)

保健医療学研究科前期 | 15名

岩本千代・大橋叶夢・掛橋明莉・加藤宏武・神田人基・齊木伸枝・清水華奈瑛・武内加奈子・竹内駿貴・民谷葵・並木結愛・西田友紀・林晃希・船津時代 (ほか1名)

保健医療学研究科後期 | 3名

江原真人・戸田成美・山崎太輝

産科 | 助産学専攻科

助産学専攻科 | 14名

荒美保・伊藤穂香・伊辺美咲・牛嶋月菜・加藤美鈴・菊地優奈・後藤愛菜・小林琉奈・菅原結衣・高橋麗奈・松本花音・松本香子・守結愛・柳橋奏音

2026.4.4

リカレントカレッジ入学式・開講式 人生100年時代をより良く生きる為に

4月4日、令和8年度春期昭和医科大学リカレントカレッジ入学式・開講式を教育研修棟にて挙行し、129名が入学した。小川良雄プリンスパルは挨拶で「現代社会は、人生100年時代と言われています。20代までの教育で得た知識だけで一生を過ごすことは不可能な時代となり、人生をより豊かに、より主体的に生きていくための鍵こそが、『リカレント教育』であると考えています。今日から始まるこの新しい挑戦が、皆さまのこれからの人生において、かけがえのない財産となるはずです。共に学び、共に成長していきましょう」と述べた。その後、小口勝司理事長、上條由美学長より、自らの研鑽に臨む一同を称え、お祝いの言葉が寄せられた。講師紹介に続き、特別プログラムとして「身近なことをちょこっと

学ぼう」をテーマに、法学と音楽についてのミニ講義が行われた。

城祐一郎教授（医学部法医学講座）からは、生活の中にある身近な約束である「契約」について、自身の経験も交えてお話いただいた。続いて、本学の包括連携協定校である洗足学園音楽大学のチェリスト・荒庸子教授とご令嬢の荒佳音さんによるミニコンサートでは、素敵な演奏と併せて、チェロの豆知識やエピソードが披露され、会場は大いに盛り上がった。受講生は今後、多彩なプログラムを受講し、知の探究を深めていく。



小川良雄プリンスパル

連携・貢献

2026.1.22

生命の意味について思索を促す 「いのちの授業」を特別協定校で実施

1月22日、土屋静馬教授（国際交流センター）が、本学の特別協定校である昭和女子大学附属昭和高等学校の1年生を対象に、『意味の視点から“私”をとらえなおす～どういう“私”であれば“人生の意味”を見出せるのか』と題し、「いのちの授業」の出張講義を行った。土屋教授は、映像などを交えたワークや、実際に関わった患者さんとのエピソードを通じて、生徒たちに「意識」と「体験」の関係について深く考える機会を提供した。

日常的に目にしているものでも、「意識」を向けなければ認識できないことを実感する場面では、教室内に驚きの声があふれていた。生徒たちは授業を通して「自分の体験を振り返る力を身に付けること」、そして「人生の意味を深く考えること」について主体的に学びながら、いのちや人生の意味について思考を巡らせた。今後も両校は、様々な相互交流を通じて、高大連携を強めていく。



授業の様子

受賞・表彰 薬学部

日本化学療法学会東日本支部総会 奨励賞

演題名 「リアルワールドデータを用いた集中治療室入室患者を対象とした抗菌薬適正使用支援チームの介入タイミングに関する分析」

受賞者 説間章俊講師（薬学部病院薬剤学講座病院薬剤学部部門）

日程 2025年9月24日～26日：新潟 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター



説間章俊講師

ご寄贈いただき、誠にありがとうございました。

昭和医科大学至誠塾 令和8年度至誠塾メンバー紹介

至誠塾は、将来の昭和医科大学を支える人材の育成を目的として平成21年度に開塾しました。これまで、学校法人の中長期計画等の実行案策定をテーマに討議を重ね、法人運営の基礎から課題解決に至るまで段階的な学びを展開してきました。令和8年度は、ビギナーコースおよびアドバンスコースを通じて法人運営に関する理解を一層深めるとともに、大学を取り巻く環境変化や中長期的課題を踏まえた検討を行い、実効性のある提案につなげます。引き続き、将来の本学運営を担う人材の育成に取り組み、法人の継続的な発展に寄与します。令和8年度の至誠塾のメンバーは、以下のとおりです。



- 塾長** 小口勝司（理事長）
- 副塾長** 上條由美（学長）、小川良雄（総括総務担当理事）、小出良平（総括病院担当理事）、田口彰彦（事務局長）
- 特別講師** 久光正（特任教授）、鈴木久義（保健医療学部長）、中村明弘（鷺沼キャンパス準備室長）、片桐敬（名誉学長）、三邊武幸（前スポーツ運動科学研究所長）、小林真一（臨床薬理研究所長）、小口江美子（上條記念ミュージアム館長）、下司映一（IR室長、横浜看護専門学校準備室長）、角田卓也（特任教授）、三邊武彦（統括研究推進センター長）、上野洋一（理事長室付相談役（病院建設・運営担当））
- ファシリテーター** 小口達敬（医学部薬理学講座医科学講座部門教授）、宮崎拓郎（薬学部基礎薬学講座生物化学部門教授）、宇高結子（鷺沼キャンパス準備室）、倉地夏樹（総務部長）、増田滋（施設部長）、肥田典子（薬学部臨床薬学講座臨床研究開発学部門教授）、石崎兼司（学事部長）、松平真悟（医学部衛生学公衆衛生学講座病院保険診療管理学部門准教授）、丸田一人（医学部外科学講座心臓血管外科学部門准教授）、田邊聡（高山病院事務長）、的場匡亮（経営戦略企画室長）、小川秀樹（昭和医科大学病院事務部長）
- 聴講生** 片保裕基（総務部総務課長）
- 至誠塾生【アドバンスコース】** 森雄作（医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科学部門准教授）、龍家圭（統括研究推進センター准教授）、石川文博（遺伝子組換え実験室准教授）、上條翔太郎（薬学部基礎医療薬学講座生理学部門准教授）、岩瀬万里子（統括研究推進センター講師）、村瀬礼美（薬学部臨床薬学講座がんゲノム医療薬学部門講師）、加茂野有徳（保健医療学部保健医療学教育学准教授）、縄田修一（薬学部病院薬剤学講座准教授）、福村基徳（薬学部薬学教育学講座准教授）、イズデブスキ龍也（医学部医学教育学講座講師）、細沼雅弘（医学部薬理学講座医科学講座

- 学部門講師）、熊木良太（薬学部社会健康薬学講座社会薬学部門講師）、三澤将史（医学部内科学講座消化器内科学部門准教授）、釋尾知春（医学部麻酔科学講座講師）、豊崎瑛士（臨床薬理研究所講師）、山口麻子（歯学部全身管理歯科学講座医科学連携診療歯科学部門講師）、馬場勇太（医学部薬理学講座医科学薬理学部門助教）、藤村真理（昭和医科大学病院臨床検査室臨床検査部門輸血検査室技術主事）、村上幸三（医学部放射線医学講座放射線科学部門准教授）、鈴木泰平（医学部内科学講座腎臓内科学部門准教授）、水上拓也（医学部薬理学講座臨床薬理学部門准教授）、小島康幸（臨床ゲノム研究所准教授）、久保田祐太郎（医学部内科学講座腫瘍内科学部門准教授）、松本政輝（医学部脳神経外科学講座講師）、氷室直哉（医学部外科学講座呼吸器外科学部門講師）、古屋貫治（スポーツ運動科学研究所講師）
- 【ビギナーズコース】** 平井隆仁（医学部総合診療医学講座講師）、立川哲史（歯学部全身管理歯科学講座歯科麻酔科学部門講師）、竹島亜希子（医学部内科学講座腎臓内科学部門講師）、塚崎雅之（歯学部口腔生化学講座教授）、安藤美奈子（横浜市北部病院看護部次長）、佐々木仁美（保健医療学部看護学科講師、藤が丘リハビリテーション病院看護部次長）、永井隆士（医学部リハビリテーション医学講座准教授）、川村彩珠（保健医療学部保健医療学教育学講師）、幾瀬大介（医学部精神医学講座講師）、三井遼（統括研究推進センター事務局研究推進課主査）、秋葉泰紀（保健医療学部保健医療学教育学講師、江東豊洲病院放射線技術部係長）、高橋知之（保健医療学部リハビリテーション学科理学療法専攻講師、昭和医科大学病院附属東病院リハビリテーション技術部技術主査）、小口由希子（昭和医科大学病院看護部次長）、八島広典（医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科学部門講師）、杉山みづき（医学部リハビリテーション医学講座講師）、和田紀子（薬学部病院薬剤学講座病院薬剤学部門講師）

令和7年度 寄贈図書

寄贈者	資料
和智 志げみ	「母親が必要としている支援」を成し遂げるための助産ケア技術（文芸社）
板部 洋之	BIOCHEMISTRY 詳解生化学 第2版（京都廣川書店）

寄贈者	資料
田中 大介	子どもの起立性調節障害（Child health books）（診断と治療社）
佐藤 裕二	連携しなきゃ損をする!? 保険算定×医療連携実践集（永末書店）

※和訳：「イワオモダカ多倍体種複合体における新たな同質六倍体種 *Lepisorus tajimaensis* (ポリポディア科)」



藤原泰央講師

日本植物分類学会 論文賞

論文名 「*Lepisorus tajimaensis* sp.nov. (Polypodiaceae), a New Allohexaploid Species in the *Lepisorus thunbergianus* Polyploid Species Complex」[※]

受賞者 藤原泰央講師（富士山麓自然・生物研究所）（当時）

日程 2026年3月5日～8日：熊本大学黒髪南キャンパス



藤原泰央講師

基礎科学分野の発展を奨励し若手研究者を支援 井上科学振興財団の顕彰に本学から2名が選出

塚崎雅之教授(歯学部口腔生化学講座)が、公益財団法人井上科学振興財団による「第18回 井上リサーチアワード」を受賞した。また、中村和貴兼任講師(同)が、同財団の「第42回井上研究奨励賞」を受賞した。井上リサーチアワードは、自然科学の基礎的研究で優れた業績を挙げ、更に開拓的発展を目指す若手研究者の独創性と自立を支援することを目的とし、博士の学位取得後9年未満の研究者で、これまでの成果を踏まえ、単独で又は共同研究者の協力を得て行う将来性豊かな研究者に対し贈られる賞である。井上研究奨励賞は、理学、医学、薬学、工学、農学等の分野で過去3年の間に博士の学位を取得し、優れた博士論文を提出した37歳未満の若手研究者を顕彰し、今後の発展を奨励するものである。

【塚崎雅之教授のコメント】

井上リサーチアワードを賜り大変光栄に感じております。受賞対象となった研究課題では、これまで見落とされてきた膜組織(臓器周囲を包む間質)に光を当て、腫瘍病態における機能解明を目指しています。本研究を進展させ、画期的な腫瘍制御法の創出に繋がられるよう、今後も努力してまいります。

第18回井上リサーチアワード

受賞者	研究題目
塚崎雅之教授	膜組織に着目した腫瘍進展機構の理解と制御

【中村和貴兼任講師のコメント】

井上研究奨励賞を賜り、大変光栄に存じます。本受賞を大きな励みとし、今後も一層精進してまいり所存です。研究をご指導いただきました塚崎雅之教授、ご推薦頂きました東京大学大学院医学系研究科免疫学の高柳広教授ならびに、共同研究者の皆様にご心より感謝申し上げます。

第42回井上研究奨励賞

受賞者	博士論文題目
中村和貴兼任講師	骨膜による腫瘍進展制御

関連リンク/井上科学振興財団 <https://www.inoue-zaidan.or.jp/>



左から、塚崎雅之教授・中村和貴兼任講師

歯科医学会最高峰の賞のひとつ 日本歯科医学会会長賞を受賞

馬場一美教授(歯学部歯科補綴学講座歯科補綴学部門)が、令和7年度日本歯科医学会会長賞(研究部門)を受賞し、2月17日、日本歯科医師会会館にて、表彰式が執り行われた。日本歯科医学会会長賞は、歯科医学・歯科医療に関する研究活動・情報発信、関係団体との協力連携を行い、人々の健康と福祉に貢献することを目的とし、研究、教育、地域歯科医療の各分野で顕著な功績を挙げた者へ授与される日本歯科医学会における最高の顕彰である。

【馬場一美教授のコメント】

このたび、日本補綴歯科学会からの推薦を受け、日本歯科医学会会長賞を拝受する運びとなり、身に余る光栄に存じます。

本受賞は、当講座が長年取り組んでまいりました「iPS細胞を用いた睡眠時ブラキシズムの疾患モデル構築と治療法開発」「補綴歯科治療におけるデジタル・ワークフローの確立」「包括的な患者立脚型アウトカム評価に基づく臨床判断支援システムの構築」、そして「バイオマテリアルに関する先端的基礎研究とその社会実装」という、4領域にわたる研究成果を高く評価いただいたものです。

これらは、研究に心血を注いできた当講座の教員・大学院生諸氏による日々の研鑽の結晶であり、同時に本学の充実した研究環

境と組織的支援の賜物であると深く感謝して

おります。また、多大なご指導・ご協力を賜りました国内外の共同研究者の先生方に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

この栄誉を励みとし、今後も本学の研究力向上と歯科医学のさらなる発展、そして研究成果の社会還元に一層精進してまいり所存です。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

関連リンク/日本歯科医学会 <https://www.jads.jp/>



左から、日本歯科医学会小林隆太郎会長(日本歯科大学附属病院 病院長)、馬場一美教授

富士山GXホールディングス及び 富士吉田市と包括連携協定を締結

学校法人昭和医科大学は、富士山GXホールディングス株式会社および富士吉田市と、再生医療領域を中心とした研究開発、人材育成、臨床応用の検討ならびに地域社会への貢献を目的として、包括連携協定を締結した。締結式は2月25日、富士吉田市役所 市長公室にて執り行われ、小口勝司 学校法人昭和医科大学理事長、粟井英朗 富士山GXホールディングス株式会社代表取締役、堀内茂 富士吉田市市長が協定書に署名した。三者はそれぞれの技術、知見、人材、施設、ネットワークを活かし、医療・教育・産業・地域社会を横断した新たな連携モデルの構築を目指していく。

【協定締結の背景】

近年、再生医療および細胞関連技術をはじめとする先端医療は、医療・健康・美容分野において、その新たな可能性が注目されている。現時点では主に自由診療領域に位置づけられているが、安全性や有効性に関する知見の蓄積や、既存医療との併用可能性の検討など、今後の発展が期待されている。

富士北麓地域は、豊かな自然環境と国際的な観光資源を有しており、医療・教育・地域産業を組み合わせた新たな価値創出の可能性を有している。今回の協定は、こうした背景を踏まえ、三者の強みを結集することで、地域と医療の持続的な発展を目指すものである。

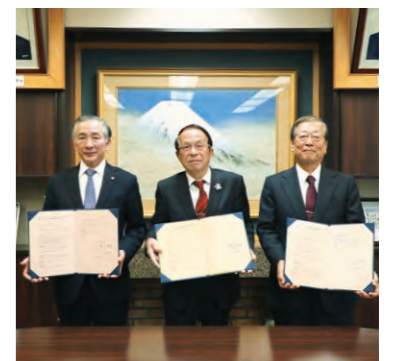
【主な連携内容】

本協定に基づき、主に以下の分野で連携を進めていく。

- 再生医療技術の研究開発・臨床応用の推進
 - ・ヒト幹細胞培養上清液等に関する基礎研究・応用研究
 - ・自由診療領域における安全性・有効性の検討
 - ・既存医療との併用による治療効果向上の検証
 - ・将来的な制度化・社会実装に向けた基盤整備

- 医療人材育成の深化と地域医療の質向上
 - ・先端医療の動向を踏まえた教育・研究内容の充実
 - ・先端医療と地域医療をつなぐ人材の育成
- 市民向けの健康支援・予防医療の高度化
 - ・健康データを活用した予防医療プログラムの開発
 - ・高齢化地域における在宅医療・介護予防の支援
- 研究成果の産業化・地域企業との連携および国際発信
 - ・再生医療関連製品・サービスの開発
 - ・インバウンドを中心としたメディカルツーリズムの展開による地域経済活性化
 - ・ロボット等を使用する世界に向けた先端医療・健康モデルの発信
 - ・富士北麓地域を拠点とした研究・教育・産業交流の促進
 - ・富士五湖地域のブランド価値向上

関連リンク/富士山GXホールディングス株式会社ホームページ <https://fujigx.co.jp/> 富士吉田市ホームページ <https://www.city.fujuyoshida.yamanashi.jp/index2.html>



左から、堀内茂市長、粟井英朗代表取締役、小口勝司理事長

認定看護師教育センター修了式 専門性を糧に、次代の看護を拓く

3月25日、令和7年度昭和医科大学認定看護師教育センター修了式を上條記念館で挙行し、上條由美学長より所定の課程を修了した6期生76名に修了証書が授与された。

今年度は手術看護分野15名、腎不全看護分野20名、認知症看護分野12名、感染管理分野8名、クリティカルケア分野21名が10か月の受講・臨床実習を経て、修了を迎えた。

上條学長は式辞で「皆さんは、進化し続ける医療技術や複雑化する地域医療のニーズに応えるために、大変努力されました。臨床の第一線を離れ学問と向き合う日々の中では葛藤もあったと思いますが、これからは実践の場で『至誠一貫』を体現し、専門職同士の連携を動かす『チーム医療』の中心的存在になってください。日本の医療と看護の未来を築いていくような、素晴らしい人生になることを願っております」と述べ、修了生に激励の言葉を送った。

また、小口勝司理事長の祝辞に続き、リカレントカレッジの小川良雄プリンシパル、認定看護師教育センターの三村洋美センター長から修了生に向けて挨拶があった。

最後に修了生代表が「異なる分野や経験を持つ仲間と意見を交わす中で、さまざまな視点に触れ、自分の看護観や実践を見つめなおすことができました。特定行為研修や講義では、知識を実践に繋げる責任の重さを実感するとともに、患者さんや家族を“一人の生活者”として捉える看護の原点を再確認する良い機会となりました。本学で学んだ知識と経験を糧に、それぞれの場で専門性を発揮し、対象に寄り添う看護を実践してまいります」と決意を表明し、閉会となった。



修了証書授与

学生生活を振り返って 経験した すべてが、 未来へつながる 道になる



支え合い乗り越えた 6年間

医学部 藤田 鉄平

6年間の学生生活は、試行錯誤の連続でした。コロナ禍の影響を大きく受け、当初思い描いていたものとは異なる日々となりましたが、多くの方々の支えにより乗り越えることができました。自分一人では決してここまで辿り着けなかったと、強く実感しております。中でも最大の財産は、剣道部での経験です。コロナ禍により伝統や繋がりが途絶えかけ、活動にも制限がある厳しい状況の中で、師範の栗田先生をはじめ、OB・OGの先輩方、同期、後輩たちの支えによって活動を継続することができました。部が再び活気を取り戻していく過程に携われたことは、大きな誇りです。また、部活動に真摯に向き合う中で得た学びや人との繋がりは、学業や学生生活にも良い影響を与えてくれました。

最後に、これまで支えてくださった家族、友人、先輩、そしてご指導いただいた先生方に心より感謝申し上げます。今後はこれらの経験を糧に、患者さんに寄り添える医師を目指し、より一層精進してまいります。



学びと出会いの 4年間

保健医療学部看護学科 渡邊 ほの香

4年間の昭和医科大学での生活を振り返ると、多くの経験を通して自身が大きく成長できた時間であったと実感しています。1年次は全寮制のもと、他学部の学生と生活や学修を共にし、多職種の視点に触れることでチーム医療を担う上で欠かせない視点を獲得することができました。2年次以降は専門的な学修や臨床実習が始まり、臨床実習では、座学だけでは学ぶことのできない患者さんとの関わり方や一人ひとりに応じた看護のあり方について学びました。看護実践の難しさを実感すると同時に、自身の目指す看護師像について再考する機会となりました。思うようにいかず悩む場面もありましたが、友人と支え合いながら乗り越える中で学びを深めることができました。支え合った友人は一生の宝物です。

4年間を通して得た多くの学びと出会いを大切にしながら、患者さん一人ひとりに寄り添う看護を実践できるよう日々努力していきたいと考えています。



出会いに恵まれた 4年間

保健医療学部理学療法学科 貞岡 万純

大学生活を振り返ると、人との出会いに恵まれた4年間でした。1年次の寮生活で出会った同部屋の友人たちは喜怒哀楽を共にし、困っているときには必ず手を差し伸べてくれる、私にとってかけがえのない存在となりました。2年次以降は学業や部活動を通して、学部や学年の垣根を越えて多くの人と交流を深め、同じ目標に向かって互いに切磋琢磨することができました。学業と部活動の両立に苦戦することもありましたが、最後まで続けることができたのは仲間の存在が大きかったと感じています。大学生活では、多くの人との出会いを通して価値観を広げるとともに、人として大きく成長することができました。また、入学から卒業までの4年間をやり遂げることができたのは周囲の支えがあったからこそだと確信しています。春からは新しい環境となりますが、これまでのご縁を大切に、今後は理学療法士として人々を支えられるよう精進してまいります。今まで関わってくださった全ての方に感謝します。



出会いと経験に 恵まれた6年間

歯学部 華岡 修大

大学生活を振り返ると、多くの出会いと経験に恵まれ、かけがえのない6年間となりました。

1年次の寮生活は、コロナ禍の影響で僅かな期間に限られましたが、その中でも学部を越えた友人と出会い、充実した日々を過ごしました。

所属していた水泳部では全学部合同で活動しており、自分だけでは知ることのできない他学部の学びや考え方に触れる機会が多くありました。仲間とコミュニケーションをとることは、今後医療を多角的に捉える良い経験となりました。

また、大学から本格的に始めた水泳に打ち込めたのは、互いに切磋琢磨できる仲間の存在があったからです。水泳を通して培った忍耐力や継続力、体力は、今後医療人として歩むうえでの大きな財産です。

大学生活はあっという間でしたが、勉学や部活動に全力で向き合えた経験や出会えた仲間の存在は、かけがえのないものとなりました。



出会いと学びの 6年間

薬学部 倉塚 紗

大学生活の始まりは、コロナ禍の中でした。短期間かつ制限の多い寮生活ではありましたが、その中で得られた経験は濃密で、かけがえのないものとなりました。寮の仲間とは定期的に交流を続け、近況報告や旅行を通じて親交を深めています。こうした出会いは、私の大学生活に豊かな彩りを与えてくれました。

また、研究室での活動も貴重な経験となりました。学会発表の機会をいただき、日本薬学会では学生優秀発表賞を受賞することができました。これらの経験を通じて、将来薬剤師として果たすべき役割を意識するようになり、医療の発展に貢献したいという思いが一層深まりました。さらに、共に研究に打ち込んだ友人たちとの絆も深まり、学びと人との出会いの両方が、大学生活を豊かで意義あるものにしてくれました。

最後に、日々ご指導くださった先生方、支えてくれた家族、そして大学生活を過ごした友人たちに心より感謝申し上げます。



ともに励み合った 4年間

保健医療学部作業療法学科 服部 愛

この4年間で、これから歩んでいくための知識と、生涯の友人、思い出を得ることができました。1年次の寮生活はコロナ禍で行動の制限はありましたが、寮で過ごす時間が増えたことで、学部を越え協力し合える友人ができました。2年次からは横浜キャンパスに通い、作業療法を専門とする先生方が身近にいる環境で、専門的な知識と技術を学びました。附属病院での実習では、学んだ知識と技術を臨床教員の先生方のご指導により身につけていくことができました。4年次の国家試験に向けたグループワークでは、仲間と励み合いながら知識や情報を共有し、最後まで努力を続けることができました。これらすべてが、私にとって思い出深く、貴重な経験となりました。今後は4年間で学んだことを糧に、一人ひとりに寄り添うことのできる作業療法士になれるよう努力してまいります。温かく見守りご指導くださった先生方をはじめ、切磋琢磨した友人、支えてくださったすべての方に心から感謝申し上げます。



夢に向かって 歩んだ3年間

昭和医科大学附属看護専門学校 横山 乃々華

看護師になりたいという夢に向かって歩んだ3年間は、様々な出会いに恵まれた日々でした。臨地実習では多くの患者さんやご家族に出会い、未熟な私を温かく受け入れてくださいました。患者さんからの応援や感謝の言葉は、忘れることのない大切なものです。苦しい場面こそ成長の機会と捉え、仲間と共に一つひとつ乗り越えることができました。

また、日々を懸命に生きる患者さんの姿に何度も心を動かされ、患者さんのために何が出来るのかを考え実践した経験は、「至誠一貫」の精神そのものであったと感じています。

最後に、実習を受け入れてくださった患者さんやご家族、丁寧な指導をしてくださった先生方に心より感謝申し上げます。そして側で支えてくれた家族、苦楽を共にした大切な仲間にも感謝の気持ちでいっぱいです。

今後は昭和医科大学へ編入学し、新たな環境で看護学を深めていきます。一人ひとりの出会いを大切にしながら、夢の実現に向けて努力していきます。

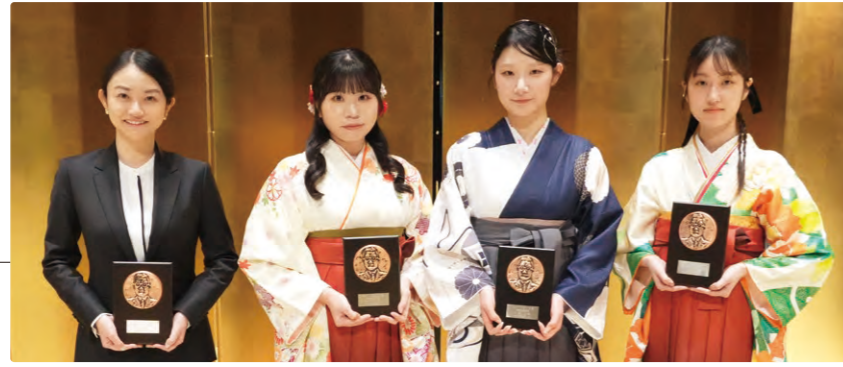


卒業生・修了生 各賞受賞者

(氏名はすべて左から)

昭和医科大学卒業式 上條賞

医学部 北谷 香菜子
歯学部 藏本 結美子
薬学部 中道 万結
保健医療学部理学療法学科 百瀬 綾香



昭和医科大学卒業式 医学部同窓会賞

橋本 侑奈
岡村 幸之助
金子 怜未



昭和医科大学卒業式 歯学部同窓会賞

鶴岡 藍
古川 愛梨
吳 悠



昭和医科大学卒業式 薬学部同窓会賞

川口 真由
山本 光優
笠神 朋花



昭和医科大学卒業式 保健医療学部同窓会賞

看護学科 矢野 愛菜
理学療法学科 石川 結唯
作業療法学科 西宮 ふかの



昭和大学卒業式 上條旗ヶ岡賞

医学部 藤田 鉄平
医学部 矢島 瑞己
歯学部 華岡 修大
歯学部 杉木 秀光
薬学部 井出 佑一郎
薬学部 倉塚 紗
保健医療学部理学療法学科 青木 紗江



昭和医科大学卒業式 最優秀スチューデント・インストラクター賞

薬学部 梅本 才輝
薬学部 渡辺 佳愛子
保健医療学部作業療法学科 齋藤 夢羽
保健医療学部作業療法学科 岡田 彩花



昭和医科大学附属 看護専門学校卒業式

石井満貴 金子 沙恵
鈴木モヨ賞 瀧脇 葵
昭桜賞 森田 巴琉



昭和医科大学大学院修了式 上條賞

医学研究科 見代 健太
歯学研究科 中島 和希
薬学研究科 伴 緋美子
保健医療学研究科 下 貴裕



学内会議報告

就任のお知らせ (2月10日 理事会承認)

医学部長 (再任)

小風 暁

医学部衛生学公衆衛生学講座
(衛生学公衆衛生学部門) 担当 教授
任期: 令和8年4月1日~令和11年3月31日

大学院医学研究科長 (再任)

泉崎 雅彦

医学部生理学講座 (生体調節機能学部門) 担当
教授
任期: 令和8年4月1日~令和11年3月31日

横浜市北部病院長 (再任)

坂下 暁子

特任教授
任期: 令和8年4月1日~令和11年3月31日

江東豊洲病院長 (再任)

横山 登

医学部外科学講座 (消化器一般外科学部門) 担当
教授
任期: 令和8年4月1日~令和11年3月31日

豊洲クリニック院長 (再任)

浦上 尚之

医学部内科学講座 (消化器内科学部門) 担当
教授
任期: 令和8年4月1日~令和11年3月31日

医学部学生部長 (再任)

砂川 正隆

医学部生理学講座 (生体制御学部門) 担当教授
任期: 令和8年4月1日~令和10年3月31日

歯学部学生部長 (再任)

野中 直子

歯学部口腔解剖学講座担当 教授
任期: 令和8年4月1日~令和10年3月31日

薬学部学生部長 (再任)

岸本 桂子

薬学部社会健康薬学講座 (社会薬学部門) 担当教授
任期: 令和8年4月1日~令和10年3月31日

保健医療学部学生部長



田中 晶子

保健医療学部看護学学科 教授
任期: 令和8年4月1日~
令和10年3月31日

富士吉田教育部学生部長 (再任)

山本 雅人

富士吉田教育部 教授
任期: 令和8年4月1日~令和10年3月31日

図書館長



藤田 健一

薬学部臨床薬学講座 (がんゲノム
医療薬学部門) 担当 教授
任期: 令和8年4月1日~
令和10年3月31日

医学部内科学講座 (消化器内科学部門) 担当 教授

[勤務地: 昭和医科大学病院消化器内科]

昭和医科大学病院消化器内科診療科長



角嶋 直美

東京大学医学部附属病院光学医療
診療部 部長・准教授
任期: 令和8年4月1日

医学部泌尿器科学講座担当 教授

[勤務地: 昭和医科大学病院泌尿器科]

昭和医科大学病院泌尿器科診療科長



押野見 和彦

医学部泌尿器科学講座担当 准教授
[勤務地: 昭和医科大学病院泌尿器科]
任期: 令和8年4月1日

医学部内科学講座 (消化器内科学部門) 担当 教授

[勤務地: 横浜市北部病院消化器センター消化器内科]

横浜市北部病院消化器センター

消化器内科診療科長



大塚 和朗

東京科学大学病院光学医療診療部
教授
任期: 令和8年4月1日

歯学部口腔健康管理学講座

(口腔機能リハビリテーション医学部門) 担当 教授

歯科病院口腔機能リハビリテーション科診療科長



伊原 良明

歯学部口腔健康管理学講座 (口腔
機能リハビリテーション医学部門)
担当 准教授
[勤務地: 歯科病院口腔機能リハビ
リテーション科]
任期: 令和8年4月1日

江東豊洲病院脳血管センター長



杉山 達也

医学部脳神経外科学講座担当
准教授
[勤務地: 江東豊洲病院脳血管センター
脳神経外科]
任期: 令和8年4月1日

藤が丘病院 病院歯科診療科長



桑澤 実希

歯学部口腔健康管理学講座 (口腔
機能管理部門) 担当 講師
[勤務地: 藤が丘病院 病院歯科]
任期: 令和8年2月10日

歯科病院障がい者歯科診療科長



嘉手納 未季

歯学部全身管理歯科学講座 (障がい
者歯科学部門) 担当 准教授
[勤務地: 歯科病院障がい者歯科]
任期: 令和8年4月1日

薬用植物園長 (再任)

川添 和義

薬学部臨床薬学講座 (天然医薬治療学部門) 担当
教授
任期: 令和8年4月1日~令和11年3月31日

横浜自然教育梅園長 (再任)

鈴木 久義

保健医療学部リハビリテーション学科 教授
任期: 令和8年4月1日~令和11年3月31日

臨床薬理研究所長 (再任)

小林 真一

特任教授
任期: 令和8年4月1日~令和11年3月31日

発達障害医療研究所長 (再任)

太田 晴久

発達障害医療研究所 准教授
任期: 令和8年4月1日~令和11年3月31日

脳機能解析・デジタル医学研究所長 (再任)

佐藤 洋輔

脳機能解析・デジタル医学研究所 教授
任期: 令和8年4月1日~令和11年3月31日

ストレスマネジメント研究所長 (再任)

中尾 睦宏

ストレスマネジメント研究所 教授
任期: 令和8年4月1日~令和11年3月31日

遺伝子組換え実験室長



石川 文博

遺伝子組換え実験室 准教授
任期：令和8年4月1日～
令和9年3月31日

キャリア支援室長(再任)

中西 孝子

キャリア支援室 准教授
任期：令和8年4月1日～令和9年3月31日

総合情報管理センター長



村上 幸三

医学部放射線医学講座(放射線科学部門)担当 准教授
[勤務地：昭和医科大学病院放射線科]
任期：令和8年4月1日～
令和10年3月31日

IR室長(再任)

下司 映一

特任教授
任期：令和8年4月1日～令和9年3月31日

産学官連携室長(再任)

三邊 武彦

統括研究推進センター 教授
任期：令和8年4月1日～令和9年3月31日

経営戦略企画室長(再任)

的場 匡亮

大学院保健医療学研究科担当 教授
任期：令和8年4月1日～令和10年3月31日

学校法人昭和医科大学内部監査室長(再任)

下司 映一

特任教授
任期：令和8年4月1日～令和10年3月31日

リカレントカレッジプリンシパル(再任)

小川 良雄

リカレントカレッジプリンシパル
任期：令和8年4月1日～令和10年3月31日

看護キャリア開発・研究センター長



吉田 雅子

看護キャリア開発・研究センター副センター長
任期：令和8年4月1日～
令和9年3月31日

頭頸部腫瘍センター長(再任)

嶋根 俊和

医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座担当 教授
任期：令和8年4月1日～令和10年3月31日

医療画像先進診断センター長(再任)

扇谷 芳光

医学部放射線医学講座(放射線科学部門)担当 教授
任期：令和8年4月1日～令和10年3月31日

特任教授雇用期間変更

横 宏太郎、小林 一女、柴田 孝則(以上、3名)
変更前：令和8年4月1日～令和9年3月31日
変更後：令和8年4月1日～令和13年3月31日
(新学科・新専攻の完成年度まで)

就任のお知らせ(3月10日 理事会承認)

特任教授



吉田 仁

任期：令和8年4月1日～
令和9年3月31日
理由：歯科病院内科クリニック内科診療科長および教育のため

副学長(再任)

宮崎 隆

国際交流・入学選抜検証担当
任期：令和8年4月1日～令和10年3月31日

副学長(再任)

木内 祐二

大学間等連携および産学官連携・カリキュラム担当
任期：令和8年4月1日～令和10年3月31日

副学長(再任)

田中 大介

保健管理担当
任期：令和8年4月1日～令和10年3月31日

副学長(再任)

泉崎 雅彦

研究・大学院進学推進担当
任期：令和8年4月1日～令和10年3月31日

学生部長(再任)

砂川 正隆

医学部生理学講座(生体制御学部門)担当 教授
任期：令和8年4月1日～令和10年3月31日

副学長



中村 明弘

アドミッション戦略担当
任期：令和8年4月1日～
令和10年3月31日

薬学部基礎薬学講座(生物化学部門)担当 教授



宮崎 拓郎

医学部生化学講座担当 准教授
任命日：令和8年4月1日

薬学部社会健康薬学講座(薬剤疫学部門)担当 教授



今井 志乃ぶ

薬学部社会健康薬学講座(薬剤疫学部門)担当 教授(員外)
任命日：令和8年4月1日

薬学部臨床薬学講座(臨床研究開発学部門)担当 教授



肥田 典子

薬学部臨床薬学講座(臨床研究開発学部門)担当 教授(員外)
任命日：令和8年4月1日

富士吉田教育部(担当：生化学) 教授



佐野 佳弘

富士吉田教育部(担当：生化学) 教授(員外)
任命日：令和8年4月1日

薬学部基礎医療薬学講座(生体分子機能修飾学部門)担当 教授(員外)



秋山 雅博

臨床薬理研究所(腸内細菌機能修飾学部門)担当 准教授
任命日：令和8年4月1日

薬学部薬学教育学講座担当 教授(員外)



亀井 大輔

薬学部薬学教育学講座担当 准教授
任命日：令和8年4月1日

富士吉田教育部(担当：化学) 教授(員外)



小林 広和

富士吉田教育部(担当：化学) 准教授
任命日：令和8年4月1日

横浜市北部病院消化器センター長



大塚 和朗

東京科学大学病院光学医療診療部 教授
任命日：令和8年4月1日

藤が丘病院外科系診療センター(泌尿器科) 診療科長



森田 順

医学部泌尿器科学講座担当 准教授
[勤務地：藤が丘病院外科系診療センター(泌尿器科)]
任命日：令和8年4月1日

横浜市北部病院外科系診療センター(泌尿器科) 診療科長



齋藤 克幸

医学部泌尿器科学講座担当 准教授
[勤務地：横浜市北部病院外科系診療センター(泌尿器科)]
任命日：令和8年4月1日

歯科病院内科クリニック内科診療科長



吉田 仁

医学部内科学講座(消化内科学部門)担当 教授
任命日：令和8年4月1日

富士吉田教育部教育推進室長



前田 昌子

富士吉田教育部 教授(員外)
任命日：令和8年4月1日

国際消化器内視鏡研修センター長



大塚 和朗

東京科学大学病院光学医療診療部 教授
任期：令和8年4月1日～
令和9年3月31日

シミュレーションセンター センター長



池田 尚人

医学部脳神経外科学講座担当 教授
[勤務地：江東豊洲病院脳神経外科]
任期：令和8年4月1日～
令和10年3月31日

特任教授 継続

令和8年4月1日～令和9年3月31日
小林 真一、南淵 明宏、井上 晴洋(以上、3名)

あなたには眠りやすい角度がある。
「入眠角度」という新提案。

ベッドが動けば、眠りは変わる。
Active Sleep BED

パラマウントベッド株式会社
東京支店 〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号
www.paramount.co.jp
(03)3648-1171(代)

なんでもご相談下さい。

医学堂書店

有限会社 医学堂書店
〒142-0064 東京都品川区旗の台1-11-9
TEL 03-3783-9774 FAX 03-3783-3156
Email igakudo@peridot.bforth.com

日本調剤

全国に広がる、日本調剤のネットワーク。

日本調剤株式会社(本社：東京都港区芝)は、
全国47都道府県で760以上の調剤薬局を展開している企業です。

昭友商事は
皆様をあらゆる面でサポートし、
貢献いたします。

(03) 3784-8280

昭和医科大学オリジナル商品の販売
NLローソン・タリーズコーヒー運営
各種旅行・イベント手配業務
アウトソーシングサービス ほか

昭友商事株式会社 〒142-0064 品川区旗の台1-8-16



理事会関係

◆法人・大学・入試広報検討委員会設置について

【設置の目的】 法人・大学広報と入試広報の連携を図ることを目的とするため

【委員会の役割】

- ①法人・大学広報と入試広報の方針の検討
- ②法人・大学広報と入試広報の年間計画と予算の検討

◆自然教育園名称変更について

【変更内容】

- ①富士吉田自然教育園 → 富士吉田自然教育里山園
- ②横浜自然教育園 → 横浜自然教育梅園
- ③鷺沼自然教育園 → 鷺沼自然教育庭園 ※令和9年4月1日開園予定

【変更理由】各自然教育園の特徴を名称に表し、認知度を高めるため

【変更日】 令和8年4月1日

◆名誉教授称号授与について

工藤 進英 特任教授 (医学部内科学講座 (消化器内科学部門) 担当)

小林 洋一 特任教授 (医学部内科学講座 (循環器内科学部門) 担当)

高橋 寛 相談役 (理事長室付相談役)

長谷川 篤司 教授 (歯学部歯科保存学講座 (総合診療歯科学部門) 担当)

板部 洋之 教授 (薬学部基礎薬学講座 (生物化学部門) 担当)

柴沼 質子 教授 (薬学部基礎薬学講座 (腫瘍細胞生物学部門) 担当)

沼澤 聡 教授 (薬学部基礎医療薬学講座 (毒物学部門) 担当)

倉田 知光 教授 (富士吉田教育部)

【任命日】 令和8年4月1日

学務関係

◆昭和医科大学附属横浜看護専門学校 英語表記について

昭和医科大学附属横浜看護専門学校

【英語名称】 SHOWA Medical University Yokohama College of Nursing

◆医学部糖尿病・代謝・内分泌内科学部門 抗糖化寄付講座終了について

【寄付講座名】 医学部糖尿病・代謝・内分泌内科学部門 抗糖化寄付講座

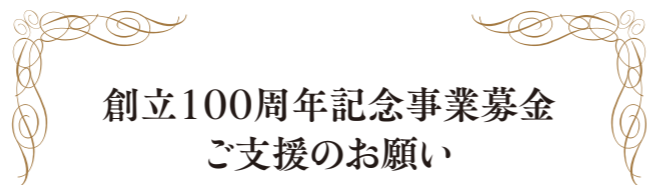
【廃止時期】 令和8年3月31日

◆昭和医科大学臨床薬理研究所部門廃止について

【廃止部門】

- ・昭和医科大学臨床薬理研究所 創製学部門
- ・昭和医科大学臨床薬理研究所 腸内細菌機能修飾学部門

【廃止時期】 令和8年3月31日



創立100周年記念事業募金 ご支援のお願い

本学は令和10年に創立100周年という大きな節目を迎えます。この節目を未来への新たな出発点と捉え、教育・研究・診療体制の一層の充実を目指した記念事業を展開しています。

厳しい社会情勢の中ではございますが、本学の未来づくりへのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



昭和医科大学 100周年
記念事業募金サイトはこちら



i Information

詳細・更新情報は各部署へお問い合わせください。

上條記念ミュージアム

【校名変更記念】企画展 「旧昭和医科大学の頃」好評により期間延長！

本学の校名変更を記念して、第7回企画展「旧昭和医科大学の頃～戦後の制度改革を乗り越えた大学の発展史～」を開催中です。本展では、昭和21～39年(1946～64年)の旧昭和医科大学時代に焦点をあて、大学設立に関する行政文書や大学施設増築に関わる図面などを展示し、専門学校から大学へと、旗の台地域とともに発展してきた歴史を紹介しています。皆さまのご来館を心よりお待ちしております。

【開館】

火曜日・金曜日

13:00～15:00 (予約制)

【開催期間】

2025年10月3日(金)～

2026年8月28日(金) 予定



いつも探しています！ 大学や病院の歴史資料

皆さまのご自宅や勤務先に、昭和医科大学の歴史に関する資料はございませんか。

資料は「上條記念ミュージアム」にて大切に保管・展示をさせていただきます。

これらの品々は「至誠一貫」の精神で歩んできた100年近くに及ぶ昭和医科大学の歴史を後世に伝える貴重な資料となる可能性があります。皆さまからのご連絡をお待ちしております。



お問い合わせ 昭和医科大学上條記念ミュージアム

電話：03-3784-8031

メール：museum@ofc.showa-u.ac.jp



リカレントカレッジ事務局

リカレントカレッジ 2026年度春期プログラム受講生募集中

リカレントカレッジでは、2026年度春期プログラムの受講生を募集しています。

定番の講座から新規開講講座まで多彩なプログラムを取り揃えております。

今回は7月以降に開講する講座をご紹介します。資料請求・講座申込はリカレントカレッジホームページをご覧ください。

※定員に達し次第、受付を終了いたします。

【7月開講】 申込締切：6月20日(出)

プログラム名	講師(敬称略)
事件記者の眼～世間を騒がせた事件について 取材を通じて裏から見ると…～	出口 修
レジリエンス～折れない心のつくりかた～	後藤 理英子
富士山や山麓の植物 ～ウォーキングしながら「野の花」を楽しむ～	谷亀 高広

【9月開講】 申込締切：8月20日(木)

プログラム名	講師(敬称略)
楽しく高める自然治癒力～セルフケアで免疫力アップ～	佐々木 晶子

また、7月6日(月)より、2026年度秋期プログラムの受講生を募集予定です。

今回も定番の講座から新規開講講座まで多彩なプログラムを取り揃えております。

資料請求・講座申込はリカレントカレッジホームページをご覧ください。

※定員に達し次第、受付を終了いたします。

〈特別企画(夏) 申し込み受付中〉

2026年度特別企画(夏)の学内教職員・学生対象の無料の座席申し込みを受付中です。

学内共有基盤または学内・院内ポスターよりお申し込みください。

リカレントカレッジでは講師を募集しています。同窓生も講師として活躍中です。ご希望の方は、問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ 昭和医科大学リカレントカレッジ事務局

電話：03-3784-8143

メール：recurrent@ofc.showa-u.ac.jp



昭和医科大学医療振興財団

募集開始!! 昭和上條医療賞・奨励賞

公益財団法人昭和医科大学医療振興財団では、2026年度顕彰事業である「昭和上條医療賞」と「昭和上條医療奨励賞」の募集を開始しました。

地域保健医療の実践および教育の分野において創造的かつ先駆的諸活動を行い、大きな成果をあげた個人またはグループには「昭和上條医療賞」、またこれらの活動を立ち上げ数年の個人またはグループに対しては「昭和上條医療奨励賞」を顕彰します。

顕彰対象は全国の病院、診療所、薬局その他の医療関連機関において、地域医療保健活動に携わり国民の健康増進に幅広く貢献されている活動を対象としています。詳細は財団ホームページをご覧ください。

皆さまのご応募・ご推薦をお待ちしております。



保健医療学部（新学科新専攻）

病院オープンキャンパス 7月18日(土)、11月21日(土)、12月19日(土)
4学部合同入試説明会 10月10日(土)



※原則予約が必要となりますので、詳細は受験生サイトをご確認ください。



総務部

昭和医科大学サポート寄付制度にご協力いただいた方

【創立100周年記念事業募金】

父母／田中 義人 様

一般／公益社団法人 昭和会 いまきいれ総合病院 上町いまきいれ病院 様、サンメディックス株式会社 様、三雄産業株式会社 様、新日本空調株式会社 様、フジパスク株式会社 様

【昭和医科大学江東豊洲病院への寄付】

一般／片岡 和美 様

※収納期間：2026年2月1日～3月31日
※本学広報媒体への掲載に同意していただいた方のみといたします

お問い合わせ 昭和医科大学医療振興財団事務局

電話：03-3783-6731

メール：igakusinko@ofc.showa-u.ac.jp



オープンキャンパス

昭和医科大学 令和8年度
オープンキャンパス情報

医学部 対面開催 7月19日(日) 動画配信 8月3日(月)

歯学部 動画配信 6月24日(水) 対面開催 7月18日(土)

薬学部 対面開催 6月21日(日)、8月8日(土)、3月21日(日)

保健医療学部

対面開催 6月21日(日)、8月1日(土)、8月2日(日)、10月25日(日)

オンライン 8月23日(日)

病院オープンキャンパス リハ学科：8月6日(木)

看護学科：8月18日(火)、8月19日(水)

入試説明会 リハ学科・新学科新専攻：9月6日(日)

今号の表紙写真

表紙写真は、4月11日にすみれ寮で撮影した富士吉田キャンパスの風景から。雪の残る富士山のダイナミックな姿を背景に、満開の桜とキャンパスを一望できる春らしい1枚です。この日は入寮式が行われ、609名の新入生が富士吉田キャンパスでの寮生活をスタートしました。新入生の皆さんにとって、1年間の学修や課外活動、日々の寮生活が実り多きものとなることを祈っております。



SHOWA MEDICAL UNIVERSITY NEWS

昭和医科大学新聞 通巻第631号

vol. 22

June 2026 令和8年6月1日発行

[年6回発行]



学校法人 昭和医科大学

(03) 3784-8000
〒142-8555
東京都品川区旗の台1-5-8

【本誌について】

発行人 小口 勝司

編集 総務課 大学広報係

(03) 3784-8059
press@ofc.showa-u.ac.jp

ご意見やご感想、各種情報をお待ちしています。

制作・印刷 株式会社ダイヤモンド・グラフィック社

【配送停止住所変更】

のご連絡は、こちらをお願いいたします。

【各種募金・寄付について】

企画課 (03) 3784-8387

【学事について】

学務課 (03) 3784-8022 (旗の台)
(0555) 22-4403 (富士吉田)
(045) 985-6503 (横浜)

大学院課 (03) 3784-8793

入学支援課 (03) 3784-8026

! 個人情報の取扱いにご注意ください

昭和医科大学新聞には、学生・職員および学外関係者の氏名や所属等を掲載している場合があります。掲載に際しては、学校法人昭和医科大学が個人情報を広報活動に利用することについて説明し、同意していただいております。原則として、その他の目的に個人情報を利用することはできませんので、取扱いにはご注意ください。